

取扱説明書

AV一体型メモリーナビゲーション

AVIC-MRZ099W

AVIC-MRZ099

AVIC-MRZ077

AVIC-MRZ066

お使いになる前に

基本操作

ナビゲーション

オーディオ

スマートループ

ハンズフリー

AR HUDユニット

ナビスタジオ

困ったときは

付録

お買い上げいただきありがとうございます

ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、記載された内容にしたがって正しくお使いください。本書は紛失しないよう車の中に保管してください。本機の詳しい取扱・操作方法については、パソコンや携帯電話からもお調べいただけます。詳しくは、7～8ページをご覧ください。

お客様登録のお願い

ご登録いただいた商品の安全に関する重要なお知らせをご案内する場合がありますので、下記のいずれかの方法にてご登録手続きをお願いいたします。なお、登録時に保証書に記載されている内容が必要になりますので、保証書をお手元にご用意ください。

インターネット利用によるご登録

インターネットに接続して、パソコンから登録を行います。→「インターネットを利用して登録する」(P22)

本機の通信機能利用によるご登録

本機の通信機能を利用して、登録を行います。→「本機の通信機能を使って登録する」(P22)

マップチャージについて

「AVIC-MRZ099W」、「AVIC-MRZ099」、「AVIC-MRZ077」は、マップチャージ3年分付(2013年11月～2016年10月)です。

この期間内であれば何度チャージしても更新料金はかかりません。

2016年11月以降のバージョンアップは有償となります。

マップチャージの流れなど、詳しくはP62をご覧ください。



安全上のご注意 (安全にお使いいただくために必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

| | |
|--|---|
|  警告 | 「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。 |
|  注意 | 「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。 |

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

| | |
|--|---|
|  注意(警告を含む)しなければならない内容です。 |  必ず行っていただく強制の内容です。 |
|  禁止 (やってはいけないこと) の内容です。 | |

MN-001-002

接続・取り付け

警告



禁止

本機は、DC12V \ominus アース車専用です24V車で使用しないでください。火災や故障の原因となります。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない
エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。

前方視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付けない

交通事故やケガの原因となります。

電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない

電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。

取り付けには保安部品(ステアリング、ブレーキ、タンクなど)のボルトやナットは絶対に使用しない
これらを使用すると、制動不能や発火、交通事故の原因となります。

警告



禁止

アンテナは、保安基準に適合しない場所に貼り付けたり、再貼り付けや汎用の両面テープで貼り付けたりしない

視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。



強制

取付・配線、取付場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼する

取付・配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、車に重大な故障をきたす場合があります。また、お客様ご自身による取付・配線は、ケガの原因となります。

作業前はバッテリーの \ominus 端子を外す
 \oplus と \ominus 経路のショートにより、感電やケガの原因となります。

作業前に、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないように注意してください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を行ってください。



警告



強制

必ず付属の部品を使用し、確実に固定する

付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できず外れて運転の妨げとなり、事故やケガの原因となります。

説明書に従って接続・取り付けする
説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。

コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁する

ショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類は運転操作の妨げとならないように固定する

ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。

取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する

正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届かないところに保管する

誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。



注意



禁止

コード類の配線は、車体の高温部に接触させない

火災や感電の原因となることがあります。

製品同梱の電源リード線は、バッテリーに直接接続しない

火災や感電の原因となることがあります。電流が不足して、バッテリーから直接電源を取る場合は、専用の配線キットを使用してください。

分岐配線をしない

ケーブルが加熱して、火災・感電の原因となることがあります。

雨が吹き込む所や水や結露、ほこり、油煙などが混入するところには取り付けない

発煙や発火、故障の原因となることがあります。

コードが金属部に触れないように配線する

金属部に接触するとコードが破損して、火災や感電、故障の原因となることがあります。

アンテナやカメラは車幅や車の前後からはみ出さない場所に取り付ける
歩行者などに接触して、思わぬ事故の原因となることがあります。

アンテナコード等を車内に引き込む際は、雨水の浸入に注意する

雨水が車内に浸入すると、火災や感電の原因となることがあります。



強制

使用方法



注意



禁止

直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けない

内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

アンテナやモニターを不安定なところに取り付けない

落下などの原因となることがあります。

通風口や放熱板をふさがない

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

コード類は絶対に途中で切断しない
コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が動かなくなり、火災の原因となることがあります。



警告



禁止

運転者は走行中に操作をしない

前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

運転者は運転中に画像を注視しない
前方不注意となり交通事故の原因となります。

速度を上げての後退運転や画面だけを見ながらの後退運転はしない

バックカメラの映像は広角レンズを使用しています。実際の距離と感覚が異なるので、人や物にぶつかる恐れがあります。また、必ず目視による安全確認を行いながら後退してください。カメラの死角になっている人や物にぶつかる恐れがあり、思わぬ事故の原因となります。



警告



メディア挿入口に手や指、異物を入れない

ケガや感電、火災や故障の原因となります。

禁止

液体で濡らさない

発煙・発火・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

**画面が映らない、音が出ない、音声
が割れる、歪むなどの異常・故障
状態で使用しない**

思わぬ事故や火災、感電の原因となります。



**雷が鳴り出したら、アンテナコード
や本機に触れない**

落雷による感電の危険性があります。

接触禁止



分解や改造をしない

交通事故や火災、感電の原因となります。

分解禁止



実際の交通規制に従って走行する
ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると、実際の交通規制に反する場合があります、交通事故の原因となります。

強制

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず停車してパーキングブレーキをかける

テレビやビデオは、安全のため走行中は表示されません。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア）のヒューズを使用する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。



注意



**モニターの収納や角度調整時に手
や指を挟まれないように注意する**

ケガの原因となることがあります。

指のケガに
注意

異常時の問い合わせ



警告



**万一異常が起きた場合は、直ちに
使用を中止し、必ず販売店かサー
ビス相談窓口にご相談する**

強制

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。



注意



本機は車載用以外で使用しない

発煙や発火、感電やケガの原因となることがあります。

禁止

アンプの放熱部に手を触れない

やけどの原因となることがあります。



**音量は、車外の音が聞こえる程度
で使用する**

強制

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となることがあります。

目次

お使いになる前に

| | |
|---------------------------|----|
| はじめに..... | 7 |
| 取付説明書..... | 7 |
| 取扱説明書(本書)..... | 7 |
| ユーザーズガイド..... | 8 |
| ユーザーズガイド(WEB版)..... | 8 |
| ユーザーズガイド(ケータイ版)..... | 8 |
| ユーザーズガイド(PDF版)..... | 8 |
| ユーザーズガイド(製本版)..... | 8 |
| 本書の見かた..... | 9 |
| 本書の表記のしかた..... | 9 |
| ご使用前に知っておいていただきたいこと... 10 | 10 |
| 緊急施設の検索やルート案内について..... | 10 |
| 地図データについて..... | 10 |
| バッテリー上がりを防ぐために..... | 10 |
| バッテリーを外すときのご注意..... | 10 |
| 本機と接続可能な通信機器について..... | 10 |
| パソコンリンクソフトのご案内..... | 10 |
| SDカードについて..... | 10 |
| 著作権..... | 11 |
| バージョンアップ(地図更新)について..... | 11 |
| お客様が保存されたデータについて..... | 11 |
| セキュリティロック機能について..... | 11 |
| エアージェスチャーについて..... | 11 |
| アフターサービス..... | 11 |
| オートアンテナ車のご注意..... | 11 |
| 初期学習について..... | 12 |
| その他..... | 12 |
| 本機に接続可能なオプション品..... | 12 |
| マイセットアップをしよう..... | 12 |
| マイセットアップ画面の見かた..... | 13 |
| エアージェスチャー練習モードについて..... | 13 |

基本操作

| | |
|--|----|
| 本機の基本操作を覚えよう..... | 14 |
| 各部の名称とおもな働きを覚えよう..... | 14 |
| ナビゲーション..... | 14 |
| ハンズフリー通話用マイク..... | 16 |
| ナビゲーションの電源について..... | 16 |
| エアージェスチャーの操作を覚えよう..... | 17 |
| エアージェスチャーのポイント..... | 17 |
| お出かけランチャーとチェックウィンドウ、 エアージェスチャー手振り機能設定 | |
| 切り換えキーの表示のしかた..... | 17 |
| 手振り操作のしかた..... | 18 |
| エアージェスチャーの設定を変える..... | 18 |
| 使用設定..... | 18 |
| 感度設定..... | 18 |
| 手振り設定..... | 18 |
| チェックウィンドウ設定..... | 19 |
| 表示時間設定..... | 19 |
| 音設定..... | 19 |
| テレビを見るための準備をしよう..... | 19 |
| miniB-CASカードを取り外すときは..... | 21 |
| 自宅を登録しよう..... | 21 |
| 携帯電話を登録しよう..... | 21 |
| お客様登録(無料)をしよう..... | 22 |
| インターネットを利用して登録する..... | 22 |
| 本機の通信機能を使って登録する..... | 22 |
| ディスクの入れかた・取り出しかた..... | 23 |
| ディスクの入れかた..... | 23 |
| ディスクの取り出しかた..... | 23 |
| SDカードの入れかた・取り外しかた..... | 23 |

| | |
|--|----|
| SDカードの入れかた..... | 24 |
| SDカードの取り外しかた..... | 24 |
| 画面を見やすく調整してみよう..... | 25 |
| モニターの角度を調整する..... | 25 |
| 画質を調整する..... | 25 |
| 地図画面とAVソース画面を 同時に表示してみよう..... | 25 |
| ナビゲーションの音量を調整してみよう... 26 | 26 |
| カスタムキーの操作を覚えよう..... | 26 |
| カスタム機能を設定する..... | 26 |
| カスタム機能を使う..... | 26 |
| イルミネーションカラーを変更してみよう <AVIC-MRZ099W>..... | 26 |
| イルミネーションカラーを変更する..... | 26 |
| イルミネーションカラーを詳細に設定する..... | 27 |
| メニューの操作を覚えよう..... | 28 |
| セントラルメニュー..... | 30 |
| NAVIメニュー..... | 30 |
| AVメニュー..... | 30 |
| 携帯電話メニュー..... | 31 |
| ビュメメニュー..... | 31 |
| 情報メニュー..... | 32 |
| 設定・編集メニュー..... | 32 |
| ショートカットメニューの操作..... | 33 |
| リスト画面の操作を覚えよう..... | 33 |
| 基本的なリストの操作..... | 33 |
| その他のリスト操作..... | 33 |
| 50音タブ付きリストの操作..... | 33 |
| ポップアップメニューの操作..... | 34 |
| 並べ替えの操作..... | 34 |
| チェックタイプリストの操作..... | 34 |
| インジケータ付きリストの操作..... | 34 |

ナビゲーション

| | |
|--------------------------|----|
| 地図の見かたや操作を覚えよう..... | 35 |
| 現在地画面の見かた..... | 35 |
| 昼間と夜間の色の違いについて..... | 35 |
| 画面下部に表示されるアイコンについて..... | 35 |
| 地図を動かす..... | 36 |
| 地図のスケールを変える..... | 37 |
| 地図の向きを変える..... | 37 |
| 地図の表示方法を変える..... | 38 |
| 目的地を探してルート案内してみよう..... | 38 |
| ルート案内中画面の見かた..... | 40 |
| ルート案内中の主な機能..... | 41 |
| サイレントガイドについて..... | 41 |
| オートリルートについて..... | 41 |
| ルートアドバイザーについて..... | 41 |
| ルート案内中の主な操作..... | 41 |
| 次の案内地を確認する(リクエスト案内)..... | 41 |
| ルート上の渋滞情報を案内させる..... | 42 |
| ルートを消去する..... | 42 |

オーディオ

| | |
|--|----|
| 音楽や映像を楽しもう..... | 43 |
| AVソースを切り換える..... | 43 |
| AVソースについて..... | 43 |
| AVソースをOFFにする..... | 43 |
| AVソースを操作する..... | 43 |
| ソース別設定を行う..... | 44 |
| 録音機能について <AVIC-MRZ099W/MRZ099>..... | 45 |
| オーディオ設定をしてみよう..... | 46 |

| | |
|---------------------------|----|
| 再生できるファイルとメディアの種類 | 47 |
| 音声コーデックについて | 47 |
| 対応音声コーデック一覧 | 47 |
| 映像コーデックについて | 48 |
| 対応映像コーデック一覧 | 48 |
| 音声コーデックと映像コーデックの組み合わせについて | 49 |

スマートループ

| | |
|---------------------------------------|----|
| スマートループを利用してみよう | 50 |
| スマートループ渋滞情報を 利用するために必要なこと | 50 |
| 通信機器を準備する | 50 |
| 携帯電話をお使いの場合 | 50 |
| データ通信専用通信モジュール 「ND-DG1」(別売)をお使いの場合 | 50 |
| スマートループ設定をする | 50 |
| スマートループ渋滞情報の取得のしかた | 52 |
| スマートループ渋滞情報取得画面の見かた | 53 |

ハンズフリー

| | |
|----------------|----|
| ハンズフリー通話をしてみよう | 54 |
| 電話のかけかた | 54 |
| 電話の受けかた | 54 |

AR HUDユニット

| | |
|----------------------|----|
| AR HUDユニットを使ってみよう | 55 |
| [HUDセッティング]画面を表示させる | 55 |
| 画面・画質調整を行う | 55 |
| 描画位置調整 | 55 |
| 画面サイズ調整 | 56 |
| 回転補正 | 56 |
| アスペクト比補正 | 56 |
| 歪み補正 | 56 |
| ホワイトバランス | 56 |
| 機能設定を行う | 56 |
| ディマー | 57 |
| 表示色設定 | 57 |
| 時計表示 | 57 |
| メッセージ表示 | 57 |
| ETCレーン表示 | 57 |
| オートスケール | 57 |
| 到着予想時刻表示 | 57 |
| バージョン情報とライセンス情報を確認する | 57 |
| AR HUDユニットを初期化する | 58 |
| AR HUDビューを操作する | 58 |

| | |
|--------------------------------------|----|
| ナビスタジオを使ってAR HUD ユニットのバージョンアップをする | 59 |
|--------------------------------------|----|

ナビスタジオ

| | |
|------------------------------|----|
| ナビスタジオを使ってみよう | 60 |
| 動作環境について | 60 |
| ナビスタジオのダウンロード・ セットアップについて | 61 |
| SDカードを本機に登録する | 61 |
| ナビスタジオを使ってできること | 61 |
| バージョンアップ(マップチャージ)をする | 62 |
| ナビゲーションでの操作 | 62 |
| パソコンでの操作 | 62 |
| ナビゲーションでの操作 | 62 |

困ったときは

| | |
|------------|----|
| 故障かな?と思ったら | 63 |
| 共通項目 | 63 |
| オーディオ共通項目 | 64 |
| FM/AM | 64 |
| DVD | 64 |

| | |
|--------------------------------------|----|
| CD、ROM (WMA/MP3/AAC) | 65 |
| 音楽CDの録音・MSV <AVIC-MRZ099W/MRZ099> | 66 |
| 地上デジタルテレビ | 66 |
| SD/USB | 67 |
| iPod | 67 |
| Bluetooth Audio | 68 |
| エラーメッセージと対処方法 | 68 |
| 共通項目 | 68 |
| ナビゲーション | 68 |
| 渋滞情報 | 69 |
| 通信 | 69 |
| Bluetooth | 69 |
| SDカード | 69 |
| USB | 70 |
| 携帯電話 | 70 |
| 音楽ディスク | 70 |
| 映像ディスク | 71 |
| 音楽CDの録音・MSV <AVIC-MRZ099W/MRZ099> | 71 |
| iPod | 71 |
| 地上デジタルテレビ | 72 |
| Bluetooth Audio | 72 |
| SD/USB | 72 |

付録

| | |
|-----------------------------|----|
| 本体リセットのしかた | 73 |
| 取り扱い上のご注意 | 73 |
| 液晶画面の正しい使いかた | 73 |
| 取り扱い上のご注意 | 73 |
| 液晶画面について | 73 |
| LEDバックライトについて | 73 |
| お手入れについて | 73 |
| ディスクの正しい使いかた | 73 |
| 取り扱い上のご注意 | 73 |
| お手入れについて | 73 |
| 保管上のご注意 | 73 |
| ディスク再生の環境について | 73 |
| 使用できないディスクについて | 74 |
| 再生できないディスクについて | 74 |
| DVDに表示されているマークの意味 | 74 |
| DVD-VRについて | 74 |
| miniB-CASカードについて | 74 |
| 取り扱い上のご注意 | 74 |
| SDカードに関するご注意 | 74 |
| USB機器に関するご注意 | 75 |
| 本機との接続について | 75 |
| 保管上のご注意 | 75 |
| iPodに関するご注意 | 75 |
| 取り扱い上のご注意 | 75 |
| 著作権について | 75 |
| 電波に関するご注意 | 75 |
| 保証書とアフターサービス | 75 |
| 保証書 | 75 |
| 保証期間 | 75 |
| 修理について | 76 |
| 保証期間中の修理について | 76 |
| 保証期間経過後の修理について | 76 |
| 車からの脱着(お取り外し・ お取り付け)について | 76 |
| 補修用性能部品の最低保有期間 | 76 |
| ご質問、ご相談は | 76 |
| 仕様 | 76 |
| VICS情報有料放送サービス契約約款 | 77 |
| Gracenote®について | 79 |
| 商標・著作権など | 80 |
| 記号・マーク一覧 | 87 |

ユーザーズガイド

お客様の利用シーンなどにあわせて、知りたい情報を詳しく知ることができるマニュアルです。ユーザーズガイド閲覧時の通信料は、お客様のご負担となります。また、掲載内容は、予告なく変更される場合があります。

お使用になる前に

■ ユーザーズガイド (WEB版)

パソコンやスマートフォンを使って閲覧することができます。インターネットに接続可能な環境で、下記URLを入力してアクセスしてください。

<http://pioneer.jp/support/manual/navi/13raku/>



■ ユーザーズガイド (ケータイ版)

携帯電話を使って閲覧することができます。バーコードリーダー対応携帯電話から、下記QRコードを読み取るか、下記URLを入力してアクセスしてください。



<http://mobi.pioneer.jp/support/manual/navi/13raku/>

※機種によっては、QRコードが読み込みできない場合があります。

■ ユーザーズガイド (PDF版)

ユーザーズガイドをPDF形式で閲覧・ダウンロードすることができます。

■ ユーザーズガイド (製本版)

ユーザーズガイドを製本した印刷物として有償販売いたします。購入をご希望される場合には、裏表紙に記載の「部品受注センター」へお問い合わせください。(ご注文の際、「CXX6179」とお伝えいただくとスムーズです。)

本書の見かた

本書の表記のしかた

| 表記 | 意味 |
|---------------|---|
| ❗ | 注意マーク 操作上、注意していただきたいことや、本製品の性能を維持するうえで注意していただきたいことについて説明しています。 |
| 📌 | メモ 操作する上でのヒントや便利な使いかたなどについて説明しています。 |
| 戻る | タッチキーを表します。 例：戻るにタッチする |
| [機能設定] | AR HUDユニットで選択できる項目を表します。 例：▲/▼ボタンで[機能設定]を選択し、▶ボタンを押す |
| メニュー | ナビゲーション本体のボタンを表します。 例：メニューを押す |
| →斜体 | 参照していただきたい本文タイトルやページ、または他の説明書を導きます。 例：→「場所を探す」 |
| 長く押す/長くタッチする | 「ピッ」と音がするまで押す(タッチする)ことを示します。 |
| 押し続ける/タッチし続ける | 押し続けている(タッチしている)間だけ操作することを示します。 |

📌メモ

- 本書では、SDメモリーカード、SDHCメモリーカードを総称して「SDカード」と表記しています。
- 本書では、iPod、iPhoneを総称して「iPod」と表記しています。
- 本書で使っているイラストや画面例は、実際の製品と異なることがあります。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 本書に記載している製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。
- 本書では、「NAVI* STUDIO (楽ナビ/EVナビ用) Ver.3.1.0」を「ナビスタジオ」と表記しています。

ご使用前に知っておいていただきたいこと

緊急施設の検索やルート案内について

病院、消防署、警察署など、緊急施設の検索やルート案内については、本機に依存せず、各施設に直接ご確認ください。

地図データについて

本機のご使用にあたっては、地図ディスクは必要ありません。地図データは、本機内蔵のメモリーに収録されています。

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

メモ

- 環境保護のため、必要以上の停車中のアイドリングは避けましょう。

バッテリーを外すときのご注意

セキュリティロックが有効状態の場合、点検などでバッテリーを外すと、次回起動時にパスワードの入力が必要です。また、以下の内容が工場出荷時の設定に戻ります。必要な情報は事前に控えておいてください。

自車方位 / 画質調整 / 画面角度調整 / オーディオ設定の内容 / ラジオ、交通情報のプリセット内容 / 各AVソースの再生モード など

本機と接続可能な通信機器について

- 本機に接続可能な通信機器は、Bluetoothに対応した携帯電話と別売のデータ通信専用通信モジュール「ND-DC1」です。
- 携帯電話を本機にBluetooth接続することで、電話機能や通信機能、Bluetooth Audio機能（Bluetooth Audio対応携帯電話の場合）などが使えます。ただし、携帯電話やスマートフォンの機種によっては、それらに対応していない機種もありますので、ご注意ください。また、別売の携帯電話接続ケーブルを使っても接続には対応しておりませんのでご注意ください。

携帯電話接続情報については、以下のサイトから確認できます。

携帯電話から

<http://pioneer.jp/carnavi-keitai/>



- ※機種によって読み込みできない場合があります。
- ※QRコードの読み取りは本機と接続予定の携帯電話で行ってください。

パソコンから

<http://pioneer.jp/car/keitai-check/>

- 通信モジュールは、通信機能のみのご利用となります。本機では、通信モジュールと携帯電話を同時接続することができます。通信モジュールでは通信機能を、携帯電話では電話機能やBluetooth Audio機能（Bluetooth Audio対応携帯電話の場合）をご利用可能です。

パソコンリンクソフトのご案内

パソコンリンクソフト「NAVI*STUDIO」（以降ナビスタジオ）をパソコンにインストールしてお使いいただく、最新の地図やスマートループ渋滞情報、ウェザーライブなどのデータをネットワーク経由で取得することができます。保存されたデータや情報は、SDカードを本機に挿入して反映させることができます。ナビスタジオのご利用に関して、詳しくは「ナビスタジオを使ってみよう」(→P60)をご覧ください。

SDカードについて

- 本機は、SDメモリーカードおよびSDHCメモリーカードに対応しています。
- ナビスタジオ (→P60) を使った全データ更新には、16 GB以上のSDHCメモリーカードが必要です。お使いいただいているパソコンがSDHCメモリーカードに対応していない場合には、SDHCカードに対応したカードリーダー/ライターなどをご使用ください。
- 「AVIC-MRZ099W」および「AVIC-MRZ099」で音楽CDを録音するためには、256 MB以上のSDカードが必要です。また、音楽CDの録音・ミミックスを利用するためには、30 MB以上の残容量が必要です。
- プローブ情報やナビスタジオの編集データの保存のためには、256 MB以上のSDカードが必要です。
- 本機はすべてのSDカードの動作を保証するものではありません。
- SDカードへのアクセス中は、SDカードを抜かないでください。また、車のキースイッチ位置を変更しないでください。データが破損する恐れがあります。そのような行為において破損した場合、補償できません。
- SDカードは寿命があります。普通に使用していても正常に書き込みや消去などの動作をしなくなる場合があります。
- お持ちのパソコンで認識しているSDカードが、まれに本機で認識しない場合があります。この場合、SDカードの不具合によっては、専用のフォーマットツールでフォーマットすることにより認識する場合があります。また、パソコンの標準機能でフォーマットをするとSD 非準拠のフォーマットになるため、データの書き込み、あるいは読み出しが出来ないなどの不具合が発生することがありますので、専用フォーマットソフトでフォーマット作業を実行することが推奨されています。ただし、フォーマットした場合は、SDカードに記録されたデータがすべて消失します。フォーマットの際は、必ずSDカードデータのバックアップを作成してから行ってください。

SDカードのフォーマットソフトウェアは、SDアシエーションの以下ホームページより入手できます。

<https://www.sdcard.org/jp/>

- フォーマット作業によるSDカードの不具合修復を弊社が保証するものではありません。また、本作業により、SDカードのデータ消失並びに、その他損害が発生した場合は、弊社として責任を負えません。フォーマットソフトの説明書などをよくお読みになり、あくまで、お客様の判断・責任のもとでフォーマット作業は実行してください。
- 「AVIC-MRZ099W」および「AVIC-MRZ099」で音楽CDを録音すると、SDカードに「NAVIRECDATA」という録音した音楽データ用のフォルダーが作られます。このフォルダーの内容は変更しないでください。このフォルダーの中にファイルを保存すると、本機で録音データの全消去を行ったときに削除されるため注意してください。また、SDカードの中に「NAVIRECDATA」という名前のフォルダーは作らないでください。

著作権

本製品に収録されたデータ及びプログラムの著作権は、弊社及び弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータ及びプログラムの全部または一部を複製、改変、解析などすることはできません。

バージョンアップ（地図更新）について

- 「AVIC-MRZ099W」、「AVIC-MRZ099」、「AVIC-MRZ077」は、マップチャージ3年分付（2013年11月～2016年10月）です。この期間内であれば何度チャージしても更新料金はかかりません。2016年11月以降のバージョンアップは有償となります。
- マップチャージには、全データ更新（アプリケーション、地図データ、道路データ、地点情報データなどを含めた全てのデータ）と、地点情報データのみの更新、道路データのみの更新の3種類があります。全データ更新は年2回、地点情報データの更新および道路データの更新は毎月を予定しています。（整備スケジュールの都合上、更新対象がない月もあります。）
- マップチャージの流れなど、詳しくはP62をご覧ください。
- 通信モジュールをお使いのお客様は、地点情報データの更新と道路データの更新を本機の通信機能を使って行うこともできます
- 全データ更新をする際は、16 GB以上のSDカード（8 GB・2枚でも可）が必要です。
- インターネット接続環境をご利用になれないお客様へは、年1回、SDカードによるバージョンアップソフトの販売を予定しています。詳細は弊社ホームページにてご案内する予定です。
- バージョンアップのお知らせについては登録時に「バージョンアップご案内の送付」に同意いただいた方のみEメールにてご案内させていただきます。

お客様が保存されたデータについて

- 本製品の故障、誤動作または不具合により、録音されなかった場合の録音内容、および消失した録音データの補償については、ご容赦ください。
- 本機の地図データ更新および修理において、お客様の登録されたデータの保証については、ご容赦ください。
- お客様が「AVIC-MRZ099W」および「AVIC-MRZ099」で録音された音楽情報（SDカード内に生成される録音データ）は、パソコンにバックアップできます。
- ナビゲーションに登録されたメモリダイヤル・各種機能設定などの内容は、事故や故障・修理・その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

セキュリティロック機能について

本機は、パスワードによるセキュリティロック機能（盗難抑止機能）を内蔵しています。出荷時は、セキュリティロック機能は動作しておりません。必要に応じてセキュリティロック機能を設定してください。設定には、通信機器の接続と設定が必要です。⇒『ユーザーズガイド』（ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP8をご覧ください。）

エアージェスチャーについて

- 本機能（→P17）をご使用になる際は、まわりの安全を十分に確認してください。
- 本機を取り付けた位置によっては、誤動作する可能性があります。その場合は、エアージェスチャー設定の使用設定を「使わない」にしてください（→P18）。

アフターサービス

- 弊社からの本製品の安全に関する重要なお知らせは、お客様登録（→P22）をしていただいたお客様にいたします。必ず登録をしていただきますようお願いいたします。
- 本製品のアフターサービスは、お買い上げ販売店を窓口として実施しておりますが、移動先や引越などにより、お買い上げ販売店に修理が依頼できない場合には、修理受付窓口へご相談ください。

オートアンテナ車のご注意

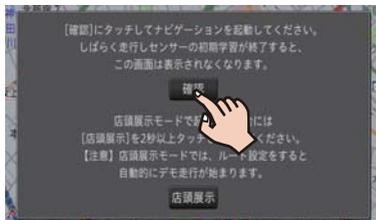
本機をオートアンテナ車（モーターアンテナ車）に取り付けた場合、エンジンスイッチのON（本機の電源ON）に連動してアンテナが上がります。屋内ではご注意ください。

初期学習について

センサー初期学習とは、センサーを利用可能にするために車や取付状態に合わせて学習を開始している状態のことです。センサーが利用可能になると、初期学習は終了します。初期学習中にエンジンをかけると以下の画面が表示されますので、**確認**にタッチしてください。**店頭展示**にはタッチしないでください。タッチしてしまった場合は、一度車のキーを抜いてから、エンジンをかけ直してください。

センサー学習について、詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP8をご覧ください。)

お
使
い
に
な
る
前
に



その他

- 著作権で保護された番組をビデオデッキなどで録画すると、著作権を保護するための機能が働き、正しく録画できません。また、著作権保護の機能により、ビデオデッキを介してモニターに出力した場合には、再生する時も画質が劣化することがあります。これらは機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴するときは、本機とリアモニターを直接接続してお楽しみください。
- 製品の性能改善などを目的として、本機には動作履歴情報（測位結果など）を記録する機能があります。動作履歴情報にお客様の個人情報は含まれません。また、この情報は当社指定の拠点および当社指定の業務委託先でのみ解析ができる仕組みになっており、お客様の同意をいただけた場合に限り使用いたします。
- 弊社は、本製品がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。
- 本製品の仕様及び外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。その場合における変更前の本製品の改造、またはお取り換えのご要望には応じかねます。

本機に接続可能なオプション品

本機には、以下のオプション品が組み合わせできます。

- AR HUDユニット「ND-HUD10」
- ETCユニット「ND-ETC6」
- VICS用ビーコンユニット「ND-B6」
- iPod用USB変換ケーブル（AV用）「CD-IUV51M」
- AV入力用変換ケーブル「CD-VRM200」
- USB接続ケーブル「CD-U120」
- データ通信専用通信モジュール「ND-DC1」
- リアモニター「TVM-Wシリーズ」
- 汎用バックカメラユニット「ND-BC7」
- ステアリングリモコンアダプター
- ステアリングリモコンケーブル

メモ

- データ通信専用通信モジュールのご購入代金には、最大約3年間分（ご使用開始日から当月末までの日数分＋35ヶ月間分）の通信費および接続料金が含まれています。3年間経過後、継続して通信機能をご使用になる場合には別途手続きが必要です。なお、電話としての機能はありませんのでご注意ください。
- バックカメラをお使いになるときは、バックカメラ設定の入力を「ON」にしてください。
- ステアリングリモコンケーブルをお使いになるときは、ステアリングリモコンの設定を行ってください。
- 型番は代表例です。車種や条件によって組み合わせできない場合もあります。詳しくは販売店へお問い合わせください。
- 各オプション品に関する詳細は、カタログまたは弊社ホームページにてご確認ください。

マイセットアップをしよう

本機の基本的な設定を、画面の指示に従ってかんたんに行うことができます。

本機をご購入後、はじめてお使いになるときは、自動的にマイセットアップが起動します。

1 マイセットアップをはじめるにタッチする



以下の順に設定を行います。
音量設定→エアー・ジェスチャー練習モード→エアー・ジェスチャー設定→自宅設定→燃費推定/車両情報→ETC取付状態設定

→Bluetooth設定→プローブ情報送信設定
→スマートループお試し登録
それぞれの画面の指示に従って設定してください。

メモ

- トヨタ専用ステアリングリモコン変換コード (AVIC-MRZ099Wに付属) を使用する場合は、燃費推定/車両情報の画面にてステアリングリモコン設定を行ってください。設定を行わないと動作しません。
- ルート案内中は、設定できません。
- あとで設定したい場合は、**あとで設定する** にタッチしてください。次回起動時もマイセットアップが起動します。
- マイセットアップは、設定・編集メニュー (→P32) からも行えます。

2 マイセットアップ終了画面まで進んだら、マイセットアップを終了するにタッチする



マイセットアップ画面の見かた

終了

マイセットアップを終了します。

次へ▶▶

設定内容を保存し、次の画面を表示します。

◀◀ 前へ

設定をやり直す場合など、一つ前の画面を表示します。



ガイダンスメッセージ

機能の概要と操作方法をかんたんなメッセージで表示します。

マイセットアップ進捗バー

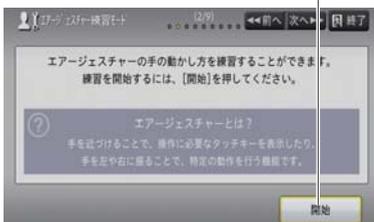
マイセットアップがどこまで進んでいるか確認できます。

エアジェスチャー練習モードについて

エアジェスチャー (→P17) を、本機の音声ガイダンスとイメージ映像で練習できます。エアジェスチャーは、手の動かし方によって意図した通りに反応しない場合もあります。本機能を使って、しっかりと練習することをお勧めします。

開始

エアジェスチャー練習モードを開始します。



練習モードを終了する

エアジェスチャー練習モードを終了します。

練習動作が説明通りにできると、「OK」と表示されます。



もう一度説明を聞く
もう一度音声ガイダンスが聞けます。

次へ▶▶

次の練習内容を表示します。

◀◀ 前へ

前の練習内容を表示します。

練習モード進捗バー

練習モードがどこまで進んでいるか確認できます。

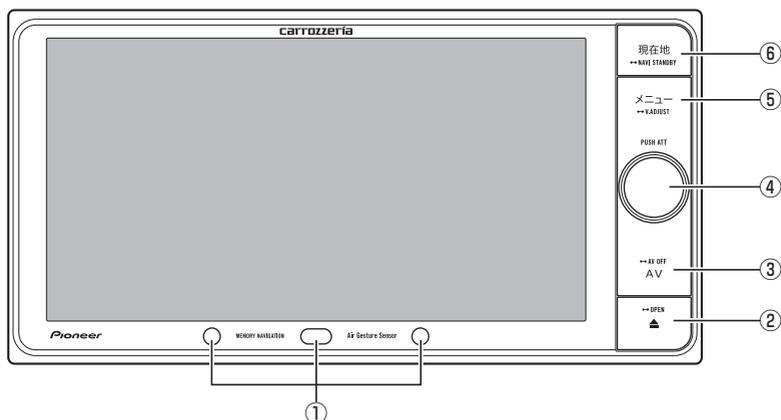
本機の基本操作を覚えよう

ナビゲーション本体、マイクの各部の名称と働きを説明します。

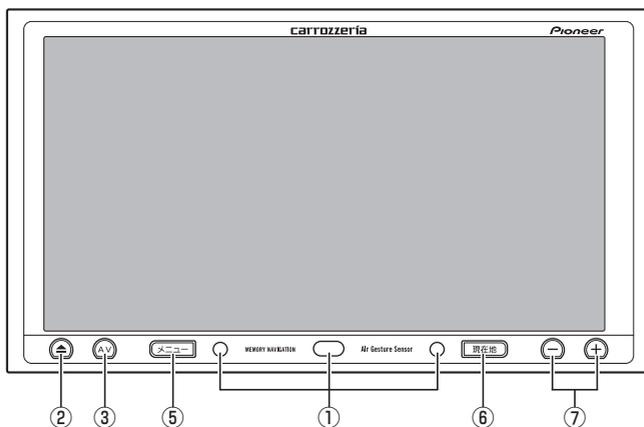
各部の名称とおもな働きを覚えよう

■ナビゲーション

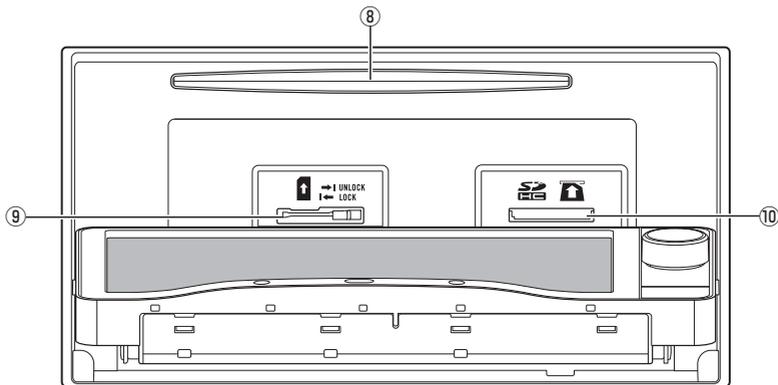
AVIC-MRZ099W (閉じている状態)



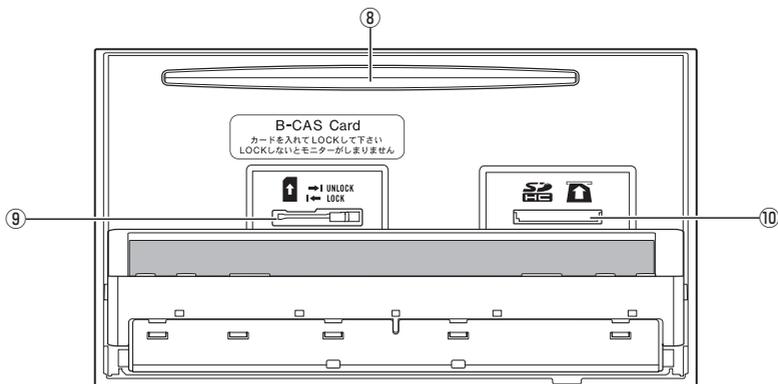
AVIC-MRZ099/MRZ077/MRZ066 (閉じている状態)



AVIC-MRZ099W (開いている状態)



AVIC-MRZ099/MRZ077/MRZ066 (開いている状態)



- ① **エアジェスチャーセンサー**
手の動きを感知します。
- ② **△ボタン (→P23,24,25)**
ディスク、SDカードの出し入れや、モニターの角度調整を行うための操作画面を表示します。
- ③ **AV ボタン**
AVソース画面時は、セントラルメニューを表示します。(長く押すとAVソースをOFFにしてセントラルメニューを表示します。) ナビゲーション画面時は、AVソースがOFFの場合はセントラルメニューを表示し、AVソースがONの場合はAVソース画面を表示します。
- ④ **音量調整ノブ**
左右に回すと車のスピーカーから出力されるAVソースの音量を調整できます。中心を押すと、アッテネーターのON/OFFを切り換えることができます。
- ⑤ **メニュー ボタン (→P28)**
セントラルメニューを表示します。セントラルメニュー表示中は、NAVIメニューとAVメニューを切り換えます。長く押すと画面の画質を調整します。
- ⑥ **現在地 ボタン**
ナビゲーションの現在地表示に切り換えます。長く押すと画面を一時的に消し、待機状態にします(ナビスタンバイ)。
- ⑦ **⊖ ⊕ (音量調整) ボタン**
車のスピーカーから出力されるAVソースの音量を調整できます。
- ⑧ **ディスク挿入口 (→P23)**
DVDやCDなどを挿入します。
- ⑨ **miniB-CASカード挿入口 (→P19)**
miniB-CASカードを挿入します。
- ⑩ **SDカードスロット (→P23)**
SDカードを挿入します。



指のケガに注意

- モニターを開閉するときは、指などを挟まれないようにご注意ください。特にお子様にはご注意ください。ケガの原因となることがあります。

❗注意

- 本機を使用していないときは、モニターを閉じた状態にしてください。
- モニターの角度調整や開閉を手動または工具を使って無理に行わないでください。モニターに強い力が加わると故障することがあります。
- モニターの角度調整や開閉をするときに、物を挟まないように注意してください。物が挟まってしまったときは、挟まった物を取り除いてから開閉操作をしてください。
- SDカードまたはminiB-CASカードの出し入れの際、モニターを完全に開いた状態のままにしておく、一定の間隔で音声警告が行われます。表示部保護のため、必要な場合以外モニターは閉じた状態でご使用ください。

📌メモ

- ナビスタンバイ中の画面にタッチすると、元の画面に戻ります。
- ナビスタンバイ中は、ナビゲーションの音声案内も出力されません。
- ナビゲーションの案内音声、操作音、電話の受話音および着信音の調整は、「ナビゲーションの音量を調整してみよう」(→P26)で行います。

■ハンズフリー通話用マイク



① 集音部

ハンズフリー通話をするときは、集音部に向かって話します。

ナビゲーションの電源について

本機の電源は、車のエンジンスイッチをONにすると自動的に入り、エンジンスイッチをOFFにすると切れます。

❗注意

- 本機は、エンジンスイッチをOFF(本機の電源をOFF)にするとモニターが自動的に閉じます。ただし、モニターが完全に開いた状態でエンジンスイッチをOFF(本機の電源をOFF)にしても、自動的にモニターが閉じることはありません。故障ではありません。

📌メモ

- ナビゲーションの電源スイッチはありません。

エアージェスチャーの操作を覚えよう

本機はエアージェスチャーに対応しています。

エアージェスチャーとは、エアージェスチャーセンサーに手を近づける、またはエアージェスチャーセンサーの前で手を左右に振る（手振り操作）ことで、直接画面やボタンに触れずに本機の実行を行える機能です。手振り操作は2種類の設定（設定1・設定2）ができ、切り換えて使用できます。

工場出荷時は、エアージェスチャーセンサーに手を近づけるとお出かけランチャーとチェックウィンドウを表示し、手振り操作の設定1で地図スケールを変える、設定2で全画面に時計を表示するように設定されています。

メモ

- エアージェスチャーを使う・使わないや、エアージェスチャーセンサーの感度設定、手振り操作の方向と動作する機能、お出かけランチャーとチェックウィンドウの表示時間、エアージェスチャーの操作音は、エアージェスチャー設定で好みに合わせて変更できます。

エアージェスチャーのポイント

エアージェスチャーを認識しやすくするため、以下の点に気を付けてください。

- 手の平をエアージェスチャーセンサーに向ける
- 指は閉じる
- 5 cm ~ 15 cmの範囲を目安にして、エアージェスチャーセンサーに手を近づける、または手振り操作する
- 本機の端から端へ、エアージェスチャーセンサーの前をさっと通すように振る

お出かけランチャーとチェックウィンドウ、 エアージェスチャー手振り機能設定 切り換えキーの表示のしかた

1 エアージェスチャーマークが表示されている画面で、エアージェスチャーセンサーの前に手を近づける

音が鳴り、お出かけランチャーとチェックウィンドウ、エアージェスチャー手振り機能設定切り換えキーが表示されます。

エアージェスチャーマーク



お出かけランチャー チェックウィンドウ エアージェスチャー 手振り機能設定切り換えキー

お出かけランチャーにタッチすると、選んだ機能を実行します。

| | |
|-------|---------------------------|
| よく行く | よく行くランキング検索 (→P30) |
| 周辺 | 周辺検索(→P30) |
| 渋滞 | 渋滞チェック(→P42) |
| 自宅 | 自宅の登録/自宅までのルート探索と誘導(→P21) |
| AVソース | AVメニューの表示 (→P43) |
| ◀/▶ | トラックのアップ/ダウン (→P44) |
| カスタム | カスタム機能の実行 (→P26) |

エアージェスチャー手振り機能設定切り換えキーにタッチすると、設定1と設定2が切り換わります。

1: エアージェスチャーの手振り機能設定が「設定1」に切り換えられている状態です。

2: エアージェスチャーの手振り機能設定が「設定2」に切り換えられている状態です。

エアージェスチャー手振り機能設定切り換えキーの状態に応じて、エアージェスチャーマークの番号も変化します。

メモ

- 本機の状態によって、エアージェスチャーマークやエアージェスチャー手振り機能設定切り換えキーは変化します。
 - ☑️ (エアージェスチャーマーク) / ❌ (エアージェスチャー手振り機能設定切り換えキー)：エアージェスチャーセンサーに太陽光が直接当たっている場合に表示されます。エアージェスチャーが正しく動作しない原因になりますので、エアージェスチャーセンサーに当たる光を遮ってください。
 - ❌ (エアージェスチャーマーク) / ☑️ (エアージェスチャー手振り機能設定切り換えキー)：エアージェスチャーセンサーに何らかの問題が発生した場合に表示されます。販売店にご相談ください。
- 表示している画面によっては、エアージェスチャーマークが表示されていなくてもエアージェスチャーが可能な場合があります。
- チェックウィンドウは、ナビ画面ではAV情報、AV画面ではナビ情報が表示されます。❌閉じるにタッチすると、一時的にチェックウィンドウが閉じます。

手振り操作のしかた

1 エアージェスチャーマークが表示されている画面で、エアージェスチャーセンサーの前を通るように手を左右に振る

地図スケールは、手を左に振ることに段階的に広域に切り換わり、右に振ることに詳細に切り換わります。



メモ

- 安全性を考慮し連続操作はできません。

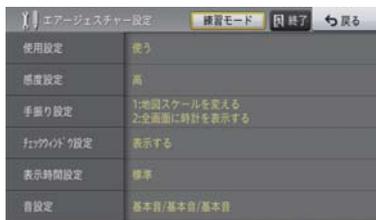
エアージェスチャーの設定を変える

エアージェスチャーに関する各種設定ができます。

1 [メニュー] を押し、設定・編集—システム設定—エアージェスチャー設定にタッチする

2 各項目を選んでタッチする

各項目にタッチすると各設定画面が表示されます。設定を終えたら戻るにタッチしてください。



使用設定

エアージェスチャーを使うかどうか設定します。工場出荷時は「使う」です。

| | |
|------|-------------------|
| 使う | エアージェスチャーが動作します。 |
| 使わない | エアージェスチャーは動作しません。 |

感度設定

エアージェスチャーセンサーの感度(高/低)を設定します。工場出荷時は「高」です。

| | |
|---|---|
| 高 | エアージェスチャーを認識する感度を高くします。エアージェスチャーセンサーから手が離れていても反応しやすくなります。 |
| 低 | エアージェスチャーを認識する感度を低くします。エアージェスチャーセンサーに手を近づけないと反応しません。 |

手振り設定

エアージェスチャーの手振り操作の機能と方向を設定します。手振り設定は、「手振り設定1」または「手振り設定2」にそれぞれ別の機能と方向を設定でき、エアージェスチャー手振り機能設定切り換えキーで切り換えて使用することができます。

工場出荷時は下記に設定されています。

手振り設定1：地図スケールを変える：両方向
手振り設定2：全画面に時計を表示する：両方向

手を振ったときの機能

| | |
|-----------------|-------------------|
| ナビ画面とAV画面を切り換える | ナビ画面とAV画面を切り換えます。 |
|-----------------|-------------------|

| | |
|-------------------------|---|
| 全画面に時計を表示する | 画面全体に時計を表示します。 |
| トラックアップ/ダウン | トラックのアップ/ダウン*を行います。 ※ソースによっては曲の頭出しとなります。 |
| トラックアップ | トラックアップを行います。 |
| AVソースの音量アップ/ダウン | AVソースの音量アップ/ダウンを行います。 |
| 案内表示をON/OFFする | 案内表示の表示/非表示を切り換えます。 |
| 地図スケールを変える | 地図のスケールを変更します。 |
| 500mスケールと登録したスケールを切り換える | 500mスケールと登録したスケールを切り換えます。 |
| 25mスケールと登録したスケールを切り換える | 25mスケールと登録したスケールを切り換えます。 |
| ロゴマークをON/OFFする | ロゴマークの表示/非表示を切り換えます。 |
| 100mスケール一方通行表示をON/OFFする | 100mスケール一方通行表示の表示/非表示を切り換えます。 |
| 地図方位を切り換える | 「2D(ノーマルビュー)地図方位」の「ヘディングアップ/ソースアップ」を切り換えます。 |
| 音声案内をON/OFFする | 音声案内のON/OFFを切り換えます。 |
| サイレントガイドをON/OFFする | サイレントガイドのON/OFFを切り換えます。 |
| アッテネーターをON/OFFする | アッテネーターのON/OFFを切り換えます。 |
| 使わない | 手振り操作によるエアージェスチャーは行いません。 |

手を振る方向

| | |
|-------|--------------------------------|
| 左右両方向 | 左右どちらから手を振ってもエアージェスチャーが可能です。 |
| 左方向のみ | 右から左に手を振ったときのみ、エアージェスチャーが可能です。 |
| 右方向のみ | 左から右に手を振ったときのみ、エアージェスチャーが可能です。 |

チェックウィンドウ設定

チェックウィンドウを表示するかどうか設定します。工場出荷時は「表示する」です。

| | |
|-------|---------|
| 表示する | 表示します。 |
| 表示しない | 表示しません。 |

表示時間設定

お出かけランチャーやチェックウィンドウの表示時間*を設定します。工場出荷時は「標準」です。

| | |
|----|-------|
| 短い | 2秒間程度 |
| 標準 | 4秒間程度 |
| 長い | 6秒間程度 |

*表示時間は、製品出荷時期によって異なる場合があります。目安としてください。

音設定

エアージェスチャーセンサーに手を近づけたときや手を離れた後、また左右に手を振ったときの効果音を設定します。工場出荷時は「基本音」です。設定できる効果音は以下の通りです。

| | |
|----------|-----------------------------|
| 手を近づける | 基本音、春風、禅、鈴、ブザー、チャイム、木琴、設定なし |
| 手振り(左方向) | 基本音、ハーブ、小波、風船、雨、流水、水滴、設定なし |
| 手振り(右方向) | 基本音、ハーブ、小波、風船、雨、流水、水滴、設定なし |

メモ

- 練習モードにタッチすると、エアージェスチャーの練習を行えます。練習モードはマイセットアップから行えます。
- 設定する機能によっては、手を振る方向が限定される場合があります。

テレビを見るための準備をしよう

本機をご購入後、はじめてテレビをご覧になるときは、miniB-CASカードの装着や受信可能なチャンネルを探して本機に登録する作業(チャンネルスキャン)が必要です。これらの準備が完了するまで、テレビはご覧になれません。

メモ

- チャンネルスキャンは、テレビの電波を受信しやすい場所で行ってください。(地下駐車場などでは電波を受信しない場合があります。)
- 設定初期化したときにもチャンネルスキャンが必要です。

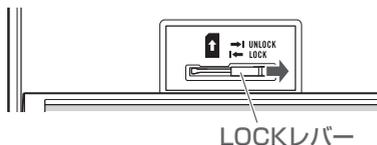
1 ㊦を押し、SDカード挿入にタッチする

SDカード挿入済みのときは、SDカード取り外しにタッチしてください。

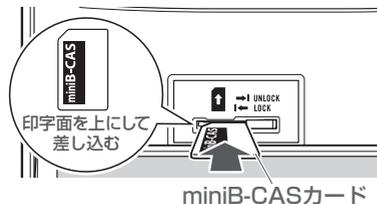


モニターが開きます。

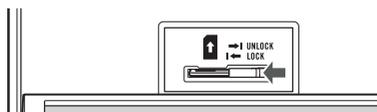
2 LOCKレバーをUNLOCK 位置までスライドする



3 “カチッ” と音がするまでminiB-CASカードを差し込む



4 LOCKレバーをLOCK位置までスライドする



5 を押す

モニターが閉じます。

メモ

- モニターが閉じない場合は、miniB-CASカードLOCKレバーがLOCK位置になっていない可能性があります。LOCKレバーの位置をご確認ください。LOCKレバーの位置が正しくないままを押すと、モニターにメッセージが表示され、音声による案内が行われます。
- 地上デジタル放送は、miniB-CASカードがないと視聴できません。視聴中は、必ず付属のminiB-CASカードを本機に装着してください。
- miniB-CASカードは、常時装着した状態で使用、保管してください。
- miniB-CASカードの取り扱いについては、カードが貼ってある台紙をご覧ください。

6 エアージェスチャーセンサーに手を近づけ、AVソースにタッチする

メモ

- エアージェスチャーを使わない設定にしている場合は、 を押し、 にタッチしてください。

7 にタッチする



8 エアージェスチャーセンサーに手を近づける

9 チェックウィンドウの 閉じるにタッチする



10 次ページ スキャンに2秒以上タッチする



チャンネルスキャンを開始します。



チャンネルスキャンが終了すると、テレビの映像が表示されます。

miniB-CAS カードを取り外すときは

何らかの理由によりminiB-CASカードを本機から取り外すときは、モニターを開いてLOCKレバーを UNLOCKの位置までスライドしてから取り出してください。miniB-CASカードを取り出したあとは、必ずLOCKレバーをLOCK位置までスライドしてください。miniB-CASカードが挿入されていない状態でも、LOCKレバーをLOCK位置にしないとモニターを閉じることができません (LOCKレバーの位置が正しくないとマスを押すと、モニターにメッセージが表示され、音声による案内が行われます)。

自宅を登録しよう

あらかじめ自宅の場所を登録しておく、ドライブ先から自宅へ帰るときなどに、かんたんな操作でルートを探索できます。

- 1 自宅に車を停める
- 2 エアージェスチャーセンサーに手を近づけ、**自宅**にタッチする

メモ

- エアージェスチャーを使わない設定にしている場合は、**メニュー**を押し、**自宅**にタッチしてください。

- 3 **はい**にタッチする



自宅が登録されます。

メモ

- マイセットアップ(→P12)でも登録できます。
- 引っ越しなどの理由で自宅を再登録したい場合は、登録済みの自宅を削除してから操作してください。⇒「ユーザーズガイド」(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP8をご覧ください。)
- 地図画面上で自転車マーク▲が自宅の位置にあることを確認してください。ずれているときは、画面をスクロールして十字カーソルを自宅の位置に合わせてください。→P36の「地図を動かす」
- 登録後に**自宅**にタッチすると、自宅までのルート探索が始まります。

携帯電話を登録しよう

通信機能やハンズフリー通話をご利用になるには、あらかじめ本機に携帯電話を登録 (Bluetooth設定) してください。操作を行う前に、携帯電話のBluetooth機能をONにしてください。

携帯電話に関する操作方法は、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

メモ

- Bluetooth 対応の携帯電話でも、機種によっては本機との接続に制限が発生する場合があります。「本機と接続可能な通信機器について」(→P10)をご覧ください。
- 別売のデータ通信専用通信モジュール「ND-DC1」をお使いになる場合、携帯電話のプロバイダ設定は必要ありません。

- 1 **メニュー**を押し、**設定・編集**→**システム設定**→**Bluetooth設定**にタッチする
- 2 **機器登録**にタッチする



周辺のBluetooth機器を検索してリスト表示します。

- 3 登録したい携帯電話名が表示されたらタッチする



メモ

- 検索は約20秒間行われます。検索を開始して20秒経過後にBluetooth機能をONにした機器などがある場合は、**再検索**にタッチすると検索し直します。

- お使いの携帯電話によっては、本機からの検索で見つからない場合があります。その場合は、**相手機器から登録する**にタッチして、Bluetooth機器の登録メニューから登録してください。

4 携帯電話を操作してパスキーを入力する



以上で、携帯電話の登録は完了です。登録した携帯電話がBluetoothのダイヤルアップネットワーク (DUN) に対応している場合、引き続きプロバイダ設定の確認画面が表示されます。携帯電話を使って本機の通信機能をご利用いただく場合は、プロバイダ設定を行ってください。

お客様登録(無料)をしよう

本機の通信機能や無料バージョンアップなど、本機をより便利で快適にお使いいただくためには、あらかじめお客様登録をさせていただくことをお勧めします。お客様登録の方法はインターネットを利用した方法と本機の通信機能を使った方法の2通りあります。

メモ

- マイセットアップ (→P12) で「スマートループお試し登録」を行っていただいた場合は、お客様登録(無料)およびスマートループ設定の初期登録 (→P50) をしなくてもスマートループ渋滞情報を期間限定で体験していただくことができます。体験期間終了後も引き続きスマートループ渋滞情報をご利用される場合や、本機的全機能をお使いになる場合は、お客様登録(無料)を行ってください。
- お客様登録は、バージョンアップやスマートループ機能と関係しています。本機を譲渡・転売する場合などは、お客様ご自身で退会手続きを行ってください。
- お客様登録では、ご希望のニックネームとパスワードを登録します。登録した内容はメモに残して忘れないようにしてください。

インターネットを利用して登録する

インターネットを利用して、自宅のパソコンなどからお客様登録およびスマートループ利用登録を行います。

1 下記URLにアクセスして、お客様登録とスマートループ利用登録の設定を行う

<http://pioneer.jp/support/members/>

以上でお客様登録とスマートループ利用登録の設定は完了です。

メモ

- ナビスタジオのランチャー画面 (→P61) から、お客様登録ページを表示させることもできます。
- スマートループのご利用には、別途スマートループ設定が必要です。(→P50)

本機の通信機能を使って登録する

本機の通信機能を使用して、お客様登録とスマートループ利用登録を行います。

メモ

- あらかじめ本機に携帯電話を登録してください。(→P21)

1 **メニュー**を押し、**Smart Loop**にタッチする

メモ

- AVメニューが表示されているときは、**→NAVI**にタッチしてください。

2 **お客様メニュー**—**お客様登録**にタッチする

3 **新規登録**にタッチする

4 **約款**を読んでから **同意する**にタッチする

以降は、画面に従い必要な情報を順次入力します。

メモ

- 電話番号登録では、「- (ハイフン)」の入力は不要です。

5 **終了**にタッチする

以上で、お客様登録は完了です。

メモ

- お客様登録が完了すると、自動的にスマートループ利用登録も完了し、利用期間が12ヶ月に設定されます。

- スマートループ利用登録期間は、必要に応じて変更してください。⇒「ユーザーズガイド」(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP8をご覧ください。)
- スマートループのご利用には、別途スマートループ設定が必要です。(→P50)

ディスクの入れかた・取り出しかた

❗注意

- 8 cm ディスクには対応しておりません。また、アダプターを装着した8 cm ディスクも絶対に使用しないでください。

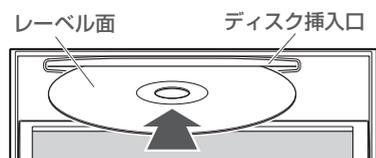
ディスクの入れかた

- 1 **Ⓜ**を押す
- 2 **OPEN** にタッチする



モニターが開きます。

- 3 ディスク挿入口にディスクを差し込む



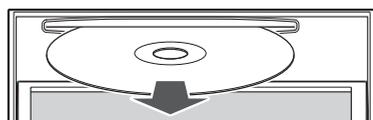
ディスクは途中まで差し込むと自動的に引き込まれ、モニターが閉じます。

ディスクの取り出しかた

- 1 **Ⓜ**を押す
- 2 **ディスクイジェクト** にタッチする



モニターが開き、ディスクが自動的に押し出されます。



- 3 ディスクを取り出し、**Ⓜ**を押す

モニターが閉じます。

SDカードの入れかた・取り外しかた

❗注意

- SDカードの出し入れを無理に行うと、本機やSDカードが破損する恐れがあります。ご注意ください。
- SDカードスロットには、SDカード以外のものを挿入しないでください。コインなどの金属物を挿入した場合、内部回路が破損し故障の原因となります。
- 安全の為、走行中はSDカードの出し入れはしないでください。

📄メモ

- ナビスタジオ(→P60)をご利用になる場合は、ナビスタジオ専用として使用するSDカード(16 GB以上)が必要です。また、本機をご購入後はじめてSDカードを挿入すると、SDカード登録確認メッセージが表示されます。ナビスタジオ専用としてお使いになるSDカードの場合は**はうい**にタッチしてください。それ以外の用途(例えば知人から一時的に借りたSDカードの場合など)の場合は**はいえ**にタッチしてください。詳しくは、「ナビスタジオを使ってみよう」(→P60)をご覧ください。
- 本機と組み合わせて使用しているときにSDカードのデータが消失しても、消失したデータの保障についてはご容赦ください。

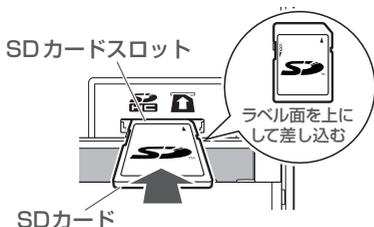
SDカードの入れかた

- 1 **ⓐ**を押す
- 2 **SDカード挿入**にタッチする



モニターが開きます。

- 3 **“カチッ”**と音がするまでSDカードを差し込む



- 4 **ⓐ**を押す

モニターが閉じます。

!注意

- SDカードが完全に挿入されていない状態で**ⓐ**を押さないでください。カードを破損させるおそれがあります (SDカードの挿入位置が正しくないまま**ⓐ**を押すと、モニターにメッセージが表示され、音声による案内が行われます)。

SDカードの取り外しかた

- 1 **ⓐ**を押す
- 2 **SDカード取り出し**にタッチする



モニターが開きます。

!注意

- SDカードを取り外す場合は、必ず**SDカード取り出し**にタッチしてから行ってください。タッチせずに取り外すと、SDカード内のデータが破損する恐れがあります。

- 3 **“カチッ”**と音がするまでSDカードを押し込んで離す



SDカードが押し出されます。



- 4 SDカードをまっすぐ引き抜き、**ⓐ**を押す

モニターが閉じます。

!注意

- SDカードは中央部をゆっくりと押し、まっすぐ取り出してください。
- 取り外したSDカードは、専用ケースに入れるなどして、保管してください。また、誤ってお子様や飲み込むなどのことが無いように、保管場所にもご配慮ください。

画面を見やすく調整してみよう

メモ

- 液晶画面は、その構造上きれいに見える角度が限られています。初めてお使いになるときは、画面がきれいに見えるように、見る角度を調整し、調整した角度に合わせて黒の濃さを調整してください。液晶画面自体の明るさや色温度なども変更できます。お好みに応じて調整してください。

モニターの角度を調整する

- 1 **△**を押す
- 2 **+**または**-**にタッチする



タッチするごとに、モニターの角度が変わります。

メモ

- 角度調整したモニターは、次にエンジンスイッチをON（本機の電源をON）にしたとき自動的に調整した角度になります。

画質を調整する

- 1 **メニュー**を長く押す
- 2 調整したい項目にタッチする



地図画面とAVソース画面を同時に表示してみよう

画面を2分割して、地図画面とAVソース画面を同時に表示させることができます。

- 1 エアージェスチャーセンサーに手を近づけ、**ビュー**にタッチする



- 2 **AVサイドビュー**にタッチする



2画面表示に切り換わります。



ナビゲーションの音量を調整してみよう

- 1 **メニュー** を押し、**設定・編集** - **案内・ハンズフリー音量設定** にタッチする
- 2 調整したい項目の **+**/**-** または **ON/OFF** にタッチする



- 1 エアージェスチャーセンサーに手を近づけ、**カスタム** にタッチする



登録した機能（例：ロゴマークをON/OFFする）が動作します。



メモ

- マイセットアップ(→P12)でも調整できます。
- 操作音は、それぞれの調整した音量と同じ大きさで鳴ります。
- 調整・補正メニュー(→P32)の「音量/消音設定」では、より詳しい設定ができます。
- オーディオの音量調整については、P15をご覧ください。
- エアージェスチャーの操作音については、P19をご覧ください。

注意

- 操作音をOFFに設定すると、警告音も鳴らなくなりますのでご注意ください。

カスタムキーの操作を覚えよう

普段よく使う機能を、画面下部に表示される**カスタム**に登録できます。工場出荷時は「地点を登録する」です。

カスタム機能を設定する

- 1 **メニュー** を押し、**設定・編集** - **システム設定** - **カスタム設定** にタッチする
- 2 登録したい機能を選ぶ



メモ

- 以下の機能は、地図画面またはAVソース画面のどちらでも動作します。
 - 周辺施設を探す
 - よく行くランキングから探す
 - 自宅へ帰る
 - エアージェスチャー使用設定を切り換える
 - エアージェスチャー手振り機能設定を切り換える
 - アtteネーターをON/OFFする
 - 全画面に時計を表示する
- その他の機能は、地図画面でのみ動作します。

イルミネーションカラーを変更してみよう<AVIC-MRZ099W>

本体のボタンのイルミネーションカラーをお好みで変更することができます。また、それぞれの色調と明るさを調整することもできます。

イルミネーションカラーを変更する

基本カラー（ホワイト、レッド、オレンジ、ブルー、グリーン）と、レインボー、エコの合計7色から選んで設定することができます。工場出荷時は「ホワイト」です。

1 **メニュー** を押し、**設定・編集** - **システム設定** - **イルミネーションカラー設定** にタッチする

2 お好みの色にタッチする



| | |
|------------------------|---|
| ホワイト、レッド、オレンジ、ブルー、グリーン | 選んだ色に設定されます。 |
| レインボー | ホワイト→レッド→オレンジ→ブルー→グリーン→ホワイト→・・・の順に繰り返し色を切り換えます。 |
| エコ | 過去平均燃費と直近の燃費を比較して、良悪の結果をイルミネーションに連動させます。ホワイトを中心として、燃費が向上した場合は、段階的(4段階)にグリーンになり、燃費が悪化した場合は、段階的(4段階)にレッドになります。燃費の良悪は約3秒間隔で更新されます。 |

メモ

- エコは、「燃費・車両設定」にて燃費推定機能を使わない設定にしている場合、選択できません。(→P32)

イルミネーションカラーを詳細に設定する

基本カラー(ホワイト、レッド、オレンジ、ブルー、グリーン)に限り、色調を微調整することができます。工場出荷時は、色調が「3」、明るさが「0」に設定されています。

1 **メニュー** を押し、**設定・編集** - **システム設定** - **イルミネーションカラー設定** にタッチする

2 基本カラーから、詳細設定する色にタッチする



3 **詳細設定** にタッチする



レインボーおよびエコが選択されている場合、詳細設定は選択できません。

4 色調の**+**または**-**、明るさの**明**または**暗**にタッチする

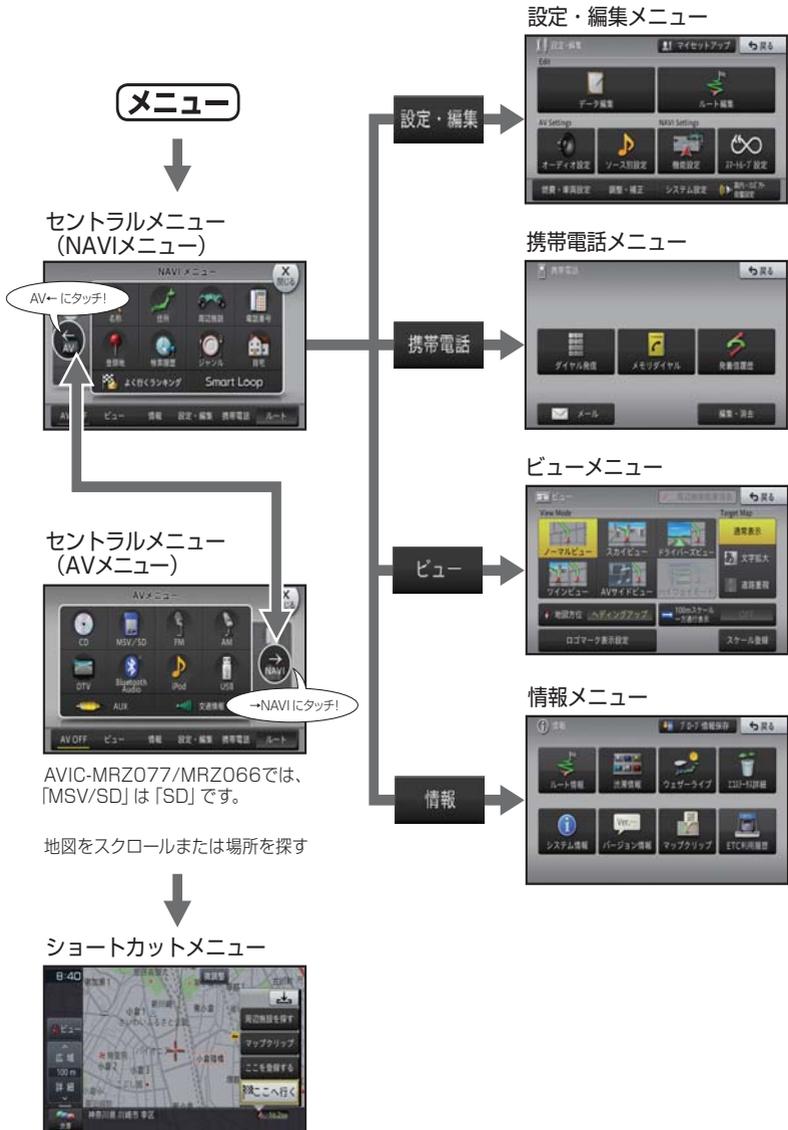


メモ

- 色調は5段階、明るさは3段階で調整することができます。

メニューの操作を覚えよう

本機では、用途に応じていろいろなメニュー画面が表示されます。それぞれの使いかたを覚えておくと便利です。



データ編集メニュー



ルート編集メニュー



オーディオ設定メニュー



ソース別設定メニュー

AVIC-MRZ077/MRZ066では、「MSV/SD設定」は「SD設定」です。



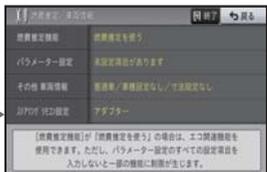
機能設定メニュー



スマートループ設定メニュー



燃費・車両設定メニュー



調整・補正メニュー



システム設定メニュー

「イルミネーションカラー設定」は、AVIC-MRZ099Wでのみ表示されます。



その他設定メニュー



セントラルメニュー

セントラルメニューには、いろいろな機能が集められています。



| | |
|--------|---|
| →NAVI | 行き先を探してルートを探索したり、場所を探して詳細情報の表示や登録などができます。 |
| AV← | CDやDVD、TVなどのオーディオ機能が利用できます。 |
| AV OFF | オーディオ機能の利用を中止することができます。 |
| ビュー | 地図の表示方法変更や強調させたい情報の設定、地図の向きや各種表示に関する設定ができます。 |
| 情報 | ルート情報や渋滞情報、バージョン情報など各種情報を確認・利用できます。 |
| 設定・編集 | 各種データやルートの編集、オーディオ関連の設定やナビゲーション関連の設定などができます。 |
| 携帯電話 | 発信操作や発着信の履歴操作、メモリアルの読み込み・利用、メール操作や各種編集・消去などができます。 |
| ルート* | ルート再探索や別ルートの探索、ルート消去などルートに関する操作ができます。 |

※：案内中ルートがある場合

NAVIメニュー

NAVIメニューには、場所を探すメニューが集められています。



| | |
|----|--|
| 名称 | 行き先のヨミ仮名を入力して検索します。ジャンルやエリアを指定して、絞り込みます。 |
| 住所 | 行き先の住所を入力して検索します。 |

| | |
|--------------|--|
| 周辺施設 | 自車の位置または地図をスクロールさせた位置やルート周辺から特定の施設を検索します。 |
| 電話番号 | 行き先の電話番号を入力して検索します。 |
| 登録地※1 | 登録した場所から検索します。 |
| 検索履歴※2 | 今までに検索した場所の履歴から検索します。日付順や自車位置またはスクロール地点に近い順、ヨミ順などで絞り込みます。 |
| ジャンル | 行き先のジャンルを選んで検索します。 |
| 自宅 | 自車位置やスクロール地点、検索結果地点などを、自宅として登録できます。登録済みの場合は自宅へのルート探索ができます。 |
| よく行くランキング※3 | よく行く行き先のランキングを表示します。 |
| Smart Loop※4 | スマートループポータルサイトに接続し、フリーワード検索・駐車場満空情報・ガスタ価格情報・TV紹介スポット、お出かけフォルダ、お知らせなどを利用することができます。また、お客様登録などを行うこともできます。 |

- ※1：登録地点がある場合
- ※2：検索履歴がある場合
- ※3：ランキング情報がある場合
- ※4：通信接続可能な状態にある場合

AVメニュー

AVメニューには、オーディオに関するメニューが集められています。



| | |
|----------|--|
| 例) DVD | 音楽CD、楽曲や映像を記録した（ディスクが挿入されていない場合は「DISC」と表示され選択できません。）音楽CD、楽曲や映像を記録したCD-R/RW/DVD-R/RW、DVD-VideoやDVD-VRを再生できます。挿入されたディスクの種類に応じて、AVソースのアイコンが変わります。 |
| MSV/SD※1 | SDカードに保存した音楽ファイルや映像ファイル、音楽CDから録音した楽曲データなどを再生できます。 |
| SD※2 | SDカードに保存した音楽ファイルや映像ファイルを再生できます。 |
| FM/AM | ラジオが聞けます。 |

| | |
|------------------------|---|
| DTV | テレビが見られます。 |
| Bluetooth Audio | 接続したBluetooth Audio機器の音楽ファイルを再生できます。 |
| iPod ※3 | 接続したiPodの音楽ファイルや映像ファイルを再生できます。別売のUSB接続ケーブル「CD-U120」とiPod用USB変換ケーブル「CD-IUV51M」が必要です。 |
| USB ※4 | USBメモリーに保存した音楽ファイルを再生できます。 |
| AUX ※5 | 接続したビデオカメラなどの外部機器の映像と音声を再生できます。 |
| 交通情報 | 幹線道路などで放送されているAMの交通情報が聞けます。 |

※1：「AVIC-MRZ099W/MRZ099」の場合、かつSDカードが挿入されている場合
 ※2：「AVIC-MRZ077/MRZ066」の場合、かつSDカードが挿入されている場合
 ※3：iPodが接続されている場合
 ※4：USBが接続されている場合
 ※5：ソース別設定(→P44)でAUX設定をONにした場合

■携帯電話メニュー

携帯電話メニューには、携帯電話機能に関するメニューがまとめられています。



| | |
|----------------|--|
| ダイヤル発信 | ダイヤル発信画面を表示し、10キーを使って電話番号を入力し、発信できます。 |
| メモリアイタル | 接続中の携帯電話から読み込んだメモリアイタルをリスト表示し、選んだ相手に発信できます。 |
| 発信履歴 | 本機と接続中に発信または着信された電話番号の履歴をリスト表示し、選んだ番号に発信できます。 |
| メール ※ | メールメニューを表示し、新規作成や再送信ができます。 |
| 編集・消去 | メモリアイタルの読み込みや消去、発信履歴の消去、メール機能(アドレス、タイトル、本文)の編集ができます。 |

※：フォトリモ@ナビ対応携帯電話を接続した場合

■ビューメニュー

ビューメニューには、地図の表示に関するメニューがまとめられています。



| | |
|-----------------------|--|
| ノーマルビュー | 平面で表示できます。 |
| スカイビュー | 上空から見ているように表示できます。 |
| ドライバーズビュー | ドライバーの目線で見ているように表示できます。 |
| ツインビュー | 左右に2分割して異なる方法で表示できます。 |
| AVサイドビュー | 地図画面とAV画面を同時に表示できます。 |
| ハイウェイモード ※ | 有料道路専用画面で表示できます。 |
| 通常表示 | 工場出荷時の状態(情報)で表示できます。 |
| 文字拡大 | 地図上の文字情報のみを拡大表示できます。 |
| 道路重視 | 地図上の道路情報のみを強調表示できます。 |
| 地図方位 | 地図の向きが、車の進行方向を常に上(ヘディングアップ)とするか、北を常に上(ノースアップ)とするか設定できます。 |
| 100mスケール一方通行表示 | 100mスケールで地図を表示しているときに、地図上に一方通行のマークを表示するかしないか設定できます。 |
| ロゴマーク表示設定 | 施設のロゴマーク(ガソリンスタンドやコンビニエンスストアなど)を表示するかしないか設定できます。 |
| スケール登録 | 現在の地図スケールを登録することができます。 |
| 周辺検索結果消去 | 周辺検索を行った際、検索結果として地図上に表示される施設のロゴマークを消去できます。 |

※：有料道路走行中の場合

■情報メニュー

情報メニューには、ルートや渋滞、エコステータス、システムなどのメニューが集められています。



| | |
|------------------|--|
| プローブ情報保存 | 蓄積型プローブ情報をSDカードに保存できます。 |
| ルート情報※1 | ルートの確認や消去、詳細設定などができます。 |
| 渋滞情報 | 文字や図形のVICIS情報を確認できます。また、通信を利用した渋滞情報（オンデマンドVICIS／スマートループ）が取得できます。 |
| ウェザーライブ | 通信可能な状態であれば、気象情報の取得や表示ができます。 |
| エコステータス詳細 | エコステータスの内容をグラフや指数などで、詳しく確認できます。 |
| システム情報 | センサー学習の状況や各機器の接続状態、SDカードの空き領域の情報を確認できます。 |
| バージョン情報 | 収録データのバージョンを確認できます。 |
| マップクリップ | 表示中の地図情報を2次元バーコード（QRコード）に変換できます。 |
| ETC利用履歴※2 | ETC カードに記録された利用履歴を確認できます。 |

※1：案内中ルートがある場合

※2：ETCユニットが接続されていて、ETCカードが挿入されている場合

◆メモ

- 「プローブ情報」とは、以下のデータの総称です。
 - 蓄積型プローブ
SDカードとパソコン経由で専用サーバーへ送信される、本機に蓄積されたオートパーキングメモリーや走行履歴などのナビゲーションに関する情報など
 - リアルタイムプローブ
本機に接続された通信機器を使って、専用サーバーへ送受信される現在の走行履歴データ

■設定・編集メニュー

設定・編集メニューには、設定または編集に関するメニューが集められています。



| | |
|------------------|---|
| マイセットアップ | マイセットアップができます。 |
| データ編集 | 登録地や駐車場履歴データ、ドライブプランの編集ができます。また、よく行くランキングやオートリルート履歴、検索履歴、学習ルート、走行軌跡、オービスデータの消去ができます。 |
| ルート編集※1 | ルートの確認や消去、詳細設定などができます。 |
| オーディオ設定※2 | オーディオの音質を調整できます。 |
| ソース別設定 | DTVやSDなど、各オーディオ機能特有の設定ができます。 |
| 機能設定 | 地図表示やルート、渋滞情報などナビゲーションに関する設定ができます。 |
| スマートループ設定 | スマートループを利用するための初期登録や各種設定などができます。 |
| 燃費・車両設定 | 燃費推定機能の使用有無やパラメータ（燃料単価や排気量など）の設定、車両情報の入力、ステアリングリモコンの設定ができます。 |
| 調整・補正 | ナビゲーションの案内音量、ハンズフリー時の着信・受話音量の調整と操作音のON/OFF、消音タイミングと消音レベルの設定、ガイド音声出力時のスピーカー選択などができます。また、自車位置がずれた場合の修正や、走行している道路の認識が間違った場合の切り換えもできます。 |
| システム設定 | Bluetooth設定やカスタム設定、エアジェスチャー設定、イルミネーションカラー設定（「AVIC-MRZ099W」のみ）、セキュリティロックの設定、各種オプション品（バックカメラ、通信モジュール）の設定などができます。また、設定の初期化もできます。 |

| | |
|---------------|--|
| 案内・ハンズフリー音量設定 | ナビゲーションの案内音量やハンズフリー時の着信・受話音量の調整と操作音のON/OFFを設定できます。 |
|---------------|--|

※1: 案内中ルートがある場合

※2: AV機能利用中の場合

ショートカットメニューの操作

場所を探した際に、利用頻度の高い機能（ルート探索や場所の登録など）がショートカットメニューとして表示されます。

1 地図をスクロールするか場所を探す

2 実行したい機能を選んでタッチする



| | |
|---------|----------------------------------|
| 周辺施設を探す | 探した場所の周辺の施設を検索することができます。 |
| マップクリップ | 表示中の地図情報を2次元バーコード（QRコード）に変換できます。 |
| ここを登録する | 探した場所を登録できます。 |
| ここへ行く | 探した場所までのルート探索ができます。 |
| | ショートカットメニューを表示・非表示することができます。 |

選んだショートカットメニューが実行されます。

メモ

- 検索機能を使って表示させたショートカットメニューを解除するときは、**リストに戻る**にタッチします。地図をスクロールして表示させたショートカットメニューを解除するときは、**現在地**を押します。

リスト画面の操作を覚えよう

機能に応じていろいろなリスト画面が表示されます。それぞれの使いかたを覚えておくくと便利です。

基本操作

基本的なリストの操作

タブ
それぞれのタブに分類されたリストの先頭行を表示します。



リスト項目
目的の項目を選んでタッチします。

リストバー
リスト項目量の目安とリストの現在位置を示します。

ページ送りタッチキー
タッチするとリストをページ送りします。

その他のリスト操作

■ 50音タブ付きリストの操作

サイドマップなし



50音タブ
選んだタブの先頭からリスト表示します。同じタブに繰り返しタッチすると、音送りでリスト表示します。
(あ→い→う→え→お)

サイドマップあり

タブ送り

サイドマップが表示されている場合は、50音タブが省略表示されます。タッチすることによって隠れている50音タブを表示します。



選択中の項目

選択中の項目は、リストの色が変わります。
検索結果のリストなどでは、あらかじめリスト最上段の項目が選択状態となります。

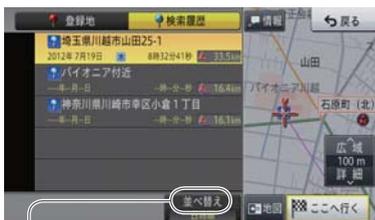
ポップアップメニューの操作



ポップアップメニュー

選んだ項目に選択肢がある場合に表示されます。

並べ替えの操作



並べ替え

タッチすることによって、ヨミ順や近い順などのようにリスト表示を並べ替えます。
並べ替えの種類は、表示している画面によって異なります。

■チェックタイプリストの操作



チェックマーク

タッチするとチェックマークが表示され、選択中であることを示します。もう一度タッチするとチェックマークが消え、選択が解除されます。

■インジケーター付きリストの操作



インジケーター

タッチするとインジケーターが点灯し、選択中であることを示します。もう一度タッチするとインジケーターが消灯し、選択が解除されます。

地図の見かたや操作を覚えよう

現在地画面の見かた

現在の時刻 11:34

方位表示 赤い三角が北方向を示します。

スケール表示 下の「100m」がスケールの距離を示します(2D表示のみ)。

各種アイコン表示 渋滞情報提供時刻表示 (→P42)

情報ウィンドウ表示 情報ウィンドウ表示の内容は、機能設定 (→P32) で市区町村名、走行道路名、緯度経度、AV情報、エコステータスの5種類に切り換えができます。

自転車マーク 車の位置と進行方向を表します。

軌跡表示

ナビゲーション

昼間と夜間の色の違いについて

夜間、周囲が暗くなってくると、画面が明るすぎて表示されている映像が見えにくくなることがあります。そこで、本機では昼画面と夜画面とで画面の配色を変えて、それぞれ見やすい画面を表示します。例えば日没の時刻になると自動的に夜画面に変わるように設定できます。昼画面と夜画面の切り換えを車のスマート灯のON/OFFと連動させたり、常に昼画面を表示させておくこともできます。本書では、昼画面を例に説明しています。

画面下部に表示されるアイコンについて

本機の設定や機器の接続状況に応じて、各種アイコンが表示されます。

| アイコン例 | 表示条件 |
|-------|---|
| | サイレントガイドでルート案内中に表示されます。 |
| | 本機に挿入されたSDカードを認識すると表示されます。 |
| | ナビゲーションに蓄積されたプローブ情報をSDカードへ保存しているときに表示されます。 |
| | ナビスタジオのMSVタイトルエディター (→P62) での編集内容を反映中や、録音データ的全消去中に表示されます。 |

| | |
|--|--|
| | 地図データ等の更新時に表示されます。更新中は、進捗状況が%で表示されます。更新マークが表示されているときは、SDカードを抜かないでください。 |
| | 音楽CDからSDカードへの録音中に表示されます。 |
| | ナビゲーションに蓄積されているプローブ情報が保存サイズ上限に近づく时表示されます。マークが表示された場合は、プローブ情報をSDカードに保存し、ナビスタジオを使用してサーバーにアップロードしてください。 |
| | Bluetooth機器接続中は青色で表示され、未接続は灰色で表示されます。電波発射がOFFに設定されている場合および音声案内がOFFの場合は表示されません。 |



ナビゲーションに蓄積されているプローブ情報が保存サイズ上限に達すると表示されます。マークが表示された場合は、プローブ情報をSDカードに保存し、ナビスタジオを使用してサーバーにアップロードしてください。マークが表示された状態のまま本機をお使いいただくこともできますが、蓄積されたプローブ情報は古いものから順に消去され、新しいプローブ情報が蓄積されます。



フォトリモ@ナビ対応携帯電話接続時で、不在着信があると表示されます。



フォトリモ@ナビ対応携帯電話接続時で、未読メールがあると表示されます。



ウェザーライブによる天気予報(気象情報や予想気温、降水確率)を取得している場合に表示されます。また、取得した天気予報の予報時刻を表示します。ルート設定時は目的地付近、ルート設定がない時は現在地付近の予報を表示します。(予報の右の自転車マークが現在地付近を示します。目的地付近の場合はチェッカーフラッグとなります。)



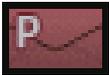
接続した別売のETCユニットにETCカードが挿入されると表示されます。ETCカードの有効期限が切れている場合は、アイコンの上に赤い斜線が表示されます。



Bluetooth機器がハンズフリー接続されると表示され、基地局とBluetooth機器間の電波強度を示します。



音声案内をOFFにすると表示されます。



通信機能が利用可能な状態の場合、スマートループポータルサイト(→P30)のお知らせに、メッセージが届くと表示されます。最も重要なメッセージが未読の場合は赤、その他のメッセージが未読の場合は白のアイコンが表示されます。メッセージがすべて既読状態になると、アイコンは消えます。

メモ

- 同種のアイコンなどは、一度に1種類しか表示されないものもあります。

地図を動かす

地図上の見たい場所にタッチするか、見たい場所の方向にタッチすると地図が動きます。この動作をスクロールと言います。

1 地図上の見たい場所にタッチする



スクロール方面表示

地図のスケールが、10 m ~ 1 km スケールのときに表示されます。



十字カーソルが表示され、タッチした場所が中心となるように地図が動きます。

メモ

- 地図にタッチする際、手の角度などによってはエアジェスチャーセンサーが反応しないことがあり、その場合タッチしてもお出かけランチャーが表示されるだけでスクロールは行いません。その状態からスクロールを行うには、もう一度見たい場所にタッチしてください。
- ノーマルビューの場合は微調整が表示されます。
- 画面にタッチしたまま指を動かし、スクロールできます。
- タッチし続けると、その方面にスクロールします。また、画面中央のカーソルから離れた場所にタッチするほど、スクロール速度が速くなります。
- 走行中にスクロール操作をすると、タッチしたところまでスクロールして停止します。

※：「AVIC-MRZ099W/MRZ099」の場合

2 微調整にタッチする

現在地の方向
十字カーソル位置と現在地を結んだ線。



十字カーソル位置の地名
十字カーソル位置周辺の地名
を示します。

現在地から十字カーソル
位置までの直線距離

3 表示を微調整する

矢印にタッチするごとに、地図が少しずつ動きます。また、画面の任意の位置をタッチしても地図が動きます。



メモ

- もう一度**微調整**にタッチすると、8方向の矢印が消えます。
- 走行中は微調整の操作はできません。
- **現在地**を押すと、現在地周辺の地図に戻ります。

地図のスケールを変える

10 m ~ 500 kmの範囲で地図のスケールを変えます。

1 エアージェスチャーセンサーに手を近づけ、**広域**または**詳細**にタッチする



ダイレクト
スケールキー



| | |
|-----------|---------------|
| 広域 | 地図をより広く見たいとき |
| 詳細 | 地図をより詳しく見たいとき |

ダイレクトスケールキーから直接スケールを選ぶこともできます。

メモ

- **現在地**にタッチすると、元の画面に戻ります。
- 停車中のみ、**広域**/**詳細**にタッチし続けることで、スケールを段階的に変えることができます（フリーズム）。

地図の向きを変える

ノーマルビューでの地図の向きを変更できます。地図の向きに関して詳しくは、P31の「ビューメニュー」をご覧ください。

1 エアージェスチャーセンサーに手を近づけ、**ビュー**にタッチする



2 地図方位にタッチする



ヘディングアップまたはノースアップに切り換わります。

地図の表示方法を変える

地図の表示方法（ビューモード）や強調させたい地図の情報（ターゲットマップ）を、お好みに合わせて変更できます。ビューモードやターゲットマップに関して詳しくは、P31の「ビューメニュー」をご覧ください。

1 エアージェスチャーセンサーに手を近づけ、「ビュー」にタッチする



2 表示方法を選んでタッチする



選んだビューモードやターゲットマップで表示されます。

目的地を探してルート案内してみよう

NAVI メニューで目的地を探してルート案内してみましょう。

本書では例として「ジャンル」から「成田国際空港」を探して目的地とする方法を説明します。その他の検索方法について、詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。（ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP8をご覧ください。）

1 [メニュー] を押し、ジャンルにタッチする

メモ

- AVメニューが表示されているときは、→NAVI にタッチしてください。

2 車・交通にタッチする



3 ↓ - その他 車・交通にタッチする



4 空港 - 都道府県を指定して探すにタッチする



メモ

- ▲付近で探すにタッチすると、現在地付近の空港を探します。

5 千葉県にタッチする



6 千葉県すべてにタッチする



検索の結果、該当する施設がリストで表示されます。

メモ

- 目的の施設がある市区町村まで分かっている場合は指定してください。検索結果を絞り込めます。

7 ここへ行くにタッチする



メモ

- 目的の施設が選択されていないときは、リストから選んで「ここへ行く」にタッチします。
- もう一度成田国際空港 (成田空港) にタッチするか、地図にタッチすると、画面全体が地図画面に切り替わります。選んだ施設にはカーソルが表示され、施設名称が画面下部に表示されます (アクティブインフォ)。
- 情報にタッチすると、選んだ施設の詳細情報を確認できます。

- 詳細情報に電話番号がある場合は、その電話番号へ発信できます (携帯電話が接続されている場合に限り)。
- 詳細情報に施設の候補が複数ある場合は、前の施設や次の施設にタッチして詳細情報の切り換えができます。

8 案内開始にタッチするか、走行を開始する



行き先までのルートが設定されると、設定ルートは明るい緑色で表示されます (細街路はピンク色、有料道路は明るい青色で表示されます)。



注意

- 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。
- 実際の道路標識に従って走行してください。

メモ

- 目的地付近に到着すると、ルート案内は自動的に終了します。

到着予想時刻表示

目的地または立寄地までの進捗度が表示されます。タッチすると、表示内容が切り換わります。

- ① 8:06
13.5 : 目的地の到着予想時刻と残りの距離
- ② 8:23
28.7 : 立寄地の到着予想時刻と残りの距離
(立寄地を指定した場合)
- ③ 07:21
7 : 出発時刻と経過時間

ルートインフォメーション

2つ先までの案内地点の距離、進行方向、次の案内地点の名称が表示されます。矢印(例:)にタッチするごとに、最大5つ先までの案内地の音声案内と地図表示を順に行います。(→P41)



レーン案内表示

レーンごとの進行方向が表示されます。誘導レーンは緑色(推奨レーンは黒矢印)で表示されます。

方面看板表示

目的地の方向

現在地と目的地を結ぶピンク色の直線が表示されます。到着予想時刻表示を②にしている場合は、現在地と立寄地を結ぶ直線となります。

ルート

設定したルートは、一般道は明るい緑色(細街路はピンク色、有料道路は明るい青色)で表示されます。

交差点を通過すると現在地画面に戻ります。

現在地画面



交差点案内表示画面

交差点に近づくと交差点案内画面に変わります。

ドライバーズビュー (工場出荷時の設定)



サイドマップ

機能設定(→P32)の「ドライバーズビューサイドマップアングル」で、2Dまたは3Dを選択できます。

メモ

- 交差点案内表示は、機能設定(→P32)で「ドライバーズビュー」「拡大図」「アローガイド」の3種類から選べます。

ルート案内中の主な機能

■サイレントガイドについて

サイレントガイドとは、ルート案内中の音声案内と地図上の案内表示を最小限にして、目的地までのルート案内を行う機能です。

自宅周辺など道がよくわかっている付近の走行など案内割り込みが不要な場合や、ルートはわかっているが目的地や立寄地の到着（通過）予想時刻が知りたい場合などに便利です。

機能設定（→P32）の「オートサイレントガイド」をONに設定すると、自動的にサイレントガイドでルート案内を開始します。

メモ

- 到着予想時刻は、目的地または立寄地で切り換えができます。
- サイレントガイドの地図画面は、2Dか3Dを選べます。
- サイレントガイド中でも、別ルートへの案内（ルートアドバイザー）やオートリルート、駐車場マップやピーコン割り込み情報（VICS用ピーコンユニット接続時）の表示は行われます。
- サイレントガイド中にルートインフォメーションの矢印にタッチすると、次の案内地点が音声と画面表示で案内されます。（リクエスト案内）
- カスタムと【エアジェスチャー設定】に「サイレントガイドをON/OFFする」を登録して切り換えることもできます。（→P26、P18）

■オートリルートについて

案内中のルートから外れた場合、自動的にルートを再探索します（オートリルート）。



メモ

- ドライバーが意図的にルートを外れたのか、道を間違えたのかを内部で判断し、全ルート再探索または復帰ルート再探索を行います（インテリジェントリルート）。

■ルートアドバイザーについて

新しいルートが見つかった、「新しい候補ルートが見つかりました」または「渋滞考慮オートリルートを行いました」と音声案内が流れ、新しいルートを表示します（ルートアドバイザー）。



| | |
|------|-------------|
| 新ルート | 新ルートで案内します。 |
| 元ルート | 元ルートで案内します。 |

ルート案内中の主な操作

■次の案内地を確認する（リクエスト案内）

ルートインフォメーションにタッチすると、次の案内地を音声案内と地図表示で案内します。

1 現在地画面でルートインフォメーションの矢印にタッチする



メモ

- 本操作を繰り返すごとに、最大5力所先の案内地まで順に表示できます。
- 交差点案内表示をアローガイドに設定している場合は、次の案内地点部分にタッチしても確認できます。

■ルート上の渋滞情報を案内させる

ルート上に発生したVICISの渋滞・規制情報は自動的に音声で案内されます(渋滞オートガイド)。

☞メモ

- VICIS情報が取得できないときなどは動作しないことがあります。
- 音声では、“およそ3 km 先、1 km の渋滞が発生しています。通過に5分ほどかかります。”などと案内されます。

手動操作でもルート上の渋滞情報を確認できます(渋滞チェック)。

1 現在地画面でエアージェスチャーセンサーに手を近づけ、**渋滞**にタッチする



渋滞箇所までの距離や渋滞の長さ、通過所要時間などの渋滞状況が文字表示と音声で案内されます。



☞メモ

- 本操作を繰り返すごとに、5カ所先の渋滞状況まで順に案内できます。
 - 案内中のルートがない場合は、自転車周辺の規制情報のみを表示・案内します。
 - 本機が専用サーバーに接続可能な状態にあるときは、**渋滞**に長くタッチすると、オンデマンドVICISやスマートループ渋滞情報を取得することができます。* (→P52)
- ※ 別途、登録や設定が必要です。

■ルートを消去する

案内中のルートが不要になったときは、ルートを消去してルート案内を中止できます。

1 **メニュー** を押し、**ルート-消去** にタッチする

ルート消去確認メッセージが表示されます。消去する場合は**はい**にタッチしてください。**いいえ**にタッチすると消去を中止してルート案内を続行します。

☞メモ

- 情報メニュー (→P32) の**ルート情報**、または設定・編集メニュー (→P32) の**ルート編集**から操作することもできます。
- 消去したルートは復活できません。

音楽や映像を楽しもう

CDやDVDなどの音源や映像のことをAVソースと言います。

AV ソースを切り換える

1 エアージェスチャーセンサーに手を近づけ、AVソースにタッチする

メモ

- エアージェスチャーセンサーを使わない設定している場合は、**メニュー** を押し、**AV** にタッチしてください。

2 AVソースを選んでタッチする



選んだAVソースの画面(AVソース画面)に切り換わります。

AVソースについて

| | |
|---|--|
| DISC (CD/ROM/ DVD)※ ¹ | 音楽CD、楽曲や映像を記録したCD-R/RW/DVD-R/RW、DVD-VideoやDVD-VRを再生できます。挿入されたディスクの種類に応じて、AVソースのアイコンが変わります。 |
| MSV/ SD※ ¹ ※ ² | SDカードに保存した音楽ファイルや映像ファイル、音楽CDから録音した楽曲データなどを再生できます。 |
| SD※ ¹ ※ ³ | SDカードに保存した音楽ファイルや映像ファイルを再生できます。 |
| FM/AM | ラジオが聞けます。 |
| DTV | テレビが見られます。 |
| Bluetooth Audio | 接続したBluetooth Audio機器の音楽ファイルを再生できます。 |
| iPod※ ¹ | 接続したiPodの音楽ファイルや映像ファイルを再生できます。別売のUSB接続ケーブル「CD-U120」とiPod用USB変換ケーブル「CD-IUV51M」が必要です。 |
| USB※ ¹ | USBメモリーに保存した音楽ファイルを再生できます。別売のUSB接続ケーブル「CD-U120」が必要です。 |

AUX※¹

接続したビデオカメラなどの外部機器の映像と音声を再生できます。

交通情報

幹線道路などで放送されているAMの交通情報が聞けます。

※¹: 接続していないAVソースや再生の準備ができていないAVソースは選択できません。

※²: 「AVIC-MRZ099W/MRZ099」の場合

※³: 「AVIC-MRZ077/MRZ066」の場合

AV ソースをOFFにする

1 **メニュー** を押し、**AV OFF** にタッチする



AVソースがOFFになります。

メモ

- AV** を長く押し、AVソースをOFFにすることもできます。

AV ソースを操作する

基本的なAVソースの操作方法について、CDを例に説明します。

メモ

- 選んだAVソースによって、操作方法や表示されるタッチキーは異なります。詳しくは、「ユーザズガイド」をご覧ください。(ユーザズガイドの閲覧方法については、本書のP8をご覧ください。)
- あらかじめ再生したい音楽CDを挿入してください。(→P23)
- 「AVIC-MRZ099W」および「AVIC-MRZ099」では、SDカードへの録音を行っていない音楽CD(または一部録音が完了していない曲を含む音楽CD)を挿入すると、自動的に録音が始まります。**録音停止** にタッチすると録音を中止できます。録音機能について詳しくはP45をご覧ください。

1 エアージェスチャーセンサーに手を近づけ、チェックウィンドウの**閉じる**にタッチする



操作タッチキーをタッチできる状態になります。



タイムバー

| | |
|---------------------------|---------------------------|
| リスト | リスト画面を表示します。 |
| リピート 、 ランダム | タッチするごとに、特殊再生を行います。 |
| 録音開始 ※ | MSV(SD カード) への録音を開始します。 |
| 再生一時停止 | 再生中は一時停止し、一時停止中は再生を再開します。 |
| 早戻し/早送り | 早戻し/早送りを行います。 |
| トラックダウン/アップ | トラックダウン/アップを行います。 |
| タイムバー | 再生時間と経過時間を表示します。 |

※ : 「AVIC-MRZ099W/MRZ099」の場合

リスト画面



| | |
|-------|---------------|
| リスト項目 | タッチした曲を再生します。 |
|-------|---------------|

メモ

- 工場出荷時は、未録音の音楽CDを挿入すると自動的に録音を開始する設定になっているため、[●録音開始]は[■録音停止]と表示されます。
- 録音されていない曲には、**rec**が表示されます。

ソース別設定を行う

ソース別設定とは、オーディオや映像に関する設定を行うメニューです。

- メニュー** を押し、**設定・編集** - **ソース別設定** にタッチする
- 設定したい機能を選んでタッチする



| | |
|--------------------|--|
| DISC設定 | DVD-Video、DVD-VRに関する字幕や音声、映像出力などの設定ができます。 |
| DTV設定 | テレビに関する視聴設定や環境設定、視聴者設定クリアなどができます。 |
| MSV/SD設定 ※1 | 音楽CDからSDカードへの自動録音の設定や、録音音質設定、映像ファイルの出力設定などができます。 |
| SD設定 ※2 | 映像ファイルの出力設定などができます。 |
| AUX設定 | 外部機器の入力設定ができます。 |

※ 1 : 「AVIC-MRZ099W/MRZ099」の場合

※ 2 : 「AVIC-MRZ077/MRZ066」の場合

録音機能について<AVIC-MRZ099W/MRZ099>

「AVIC-MRZ099W/MRZ099」は、録音機能を搭載しています。録音の対象となるのは、音楽CDのみです。ソース別設定のオート録音モードがONの状態でも録音の音楽CDを挿入すると、自動的に挿入されているSDカードへ録音します。録音完了後は、AVソースから**MSV/SD**を選びと録音した楽曲データを再生できます。

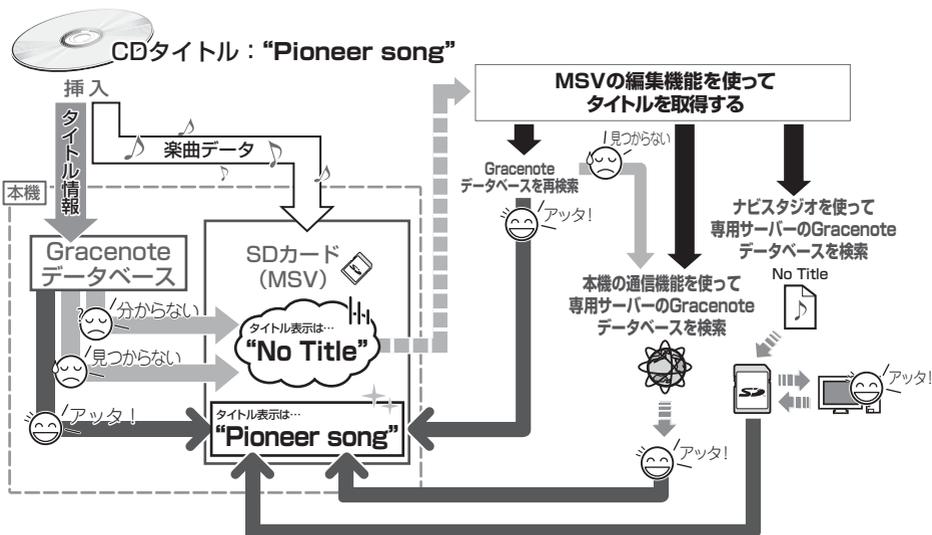
メモ

- 録音に関する設定は、ソース別設定(→P44)で変更することができます。
- 録音中は、SDカード内の音楽データの編集(タイトル取得、アルバム消去、トラック消去、マイミックスから消去、録音データの全消去)はできません。
- 差分更新が開始されると、録音は中止されます。録音を再開するときは、差分更新が終了してから**録音開始**にタッチしてください。
- 音楽CDを録音すると、SDカードに「NAVIRECDATA」という録音した音楽データ用のフォルダーが作られます。誤ってこのフォルダーを削除してしまうと、録音した楽曲データも削除されますのでご注意ください。
- SDカードに保存した録音データやパソコンから取り込んだ楽曲データの上限はトラック5 000曲、アルバム300件です。フォルダー階層の制限はありません。

「AVIC-MRZ099W/MRZ099」にはGracenote音楽認識サービス(以降Gracenoteデータベース)のタイトル情報が収録されており、録音した楽曲データとGracenoteデータベースに収録されているタイトル情報が一致した場合、音楽CDと同じタイトル情報が画面上に表示されます。

録音した音楽CDのタイトル情報が未収録またはタイトル候補が複数あった場合は、「No Title」と表示されます。「No Title」と表示された場合は、ミュージックサーバーの編集機能を使って、タイトル情報を再取得します。再取得時は、はじめに本機内蔵のGracenoteデータベースを検索し、候補が見つかった場合はリスト表示します。候補が見つからない場合は、本機の通信機能を使って専用サーバーのGracenoteデータベースを検索しますが、あらかじめ通信機能の利用準備が必要です。→P21の「携帯電話を登録しよう」

その他にも、パソコンリンクソフト「ナビスタジオ」(P60)を利用して専用サーバーのGracenoteデータベースからタイトル取得することもできます。



メモ

- 個人用に作成した音楽CDについては、通信からタイトル取得しても保存形式によっては取得できない場合があります。

オーディオ設定をしてみよう

再生中の音源にあわせて設定を変更したり、音質をお好みに合わせて調整できます。

1 **メニュー** を押し、**設定・編集**—**オーディオ設定** にタッチする



オーディオ

| | |
|-----------------------|--|
| フェーダー/バランス設定 | 前後左右の音量バランスを調整できます。工場出荷時は「0 / 0」です。 |
| ラウドネス設定 | 小さな音量で聞いているときに、低高音の不足感を補正してメリハリのある音にできます。工場出荷時は「OFF」です。 |
| イコライザー設定 | あらかじめ用意された5つの設定（ファクトリーカーブ）とお好みで調整した設定（CUSTOM）からイコライザーカーブが選べます。工場出荷時は「FLAT」です。 |
| ハイパスフィルター設定 | 選択した周波数より低い周波数の音がサブウーファー以外の各スピーカーから出力されないように設定できます。工場出荷時は「OFF」です。 |
| サブウーファー設定 | サブウーファーから出力される音の設定を行うことができます。工場出荷時は「ON」です。 |
| ソースレベルアジャスター設定 | AVソースを切り換えたときに音量の違が出ないように、FM の音量を基準にして各AV ソースの音量の差をそろえることができます。工場出荷時は「0 dB」です。 |
| 音場設定 (VSC) | お好みの音場をリアルに再現できます。また、音場の最適な効果位置を設定できます。工場出荷時は「OFF」です。 |
| バスブースター設定 | スピーカーやサブウーファーから出力される低音域の増強効果を設定できます。工場出荷時は「0」です。 |

再生できるファイルとメディアの種類

本機では、下記の音楽ファイルおよび映像ファイルを再生できます。

| | コーデック | 拡張子 | 対応メディア | | | |
|--------|-------------------------|-----------|---|--|---|---|
| | | |  CD-R/RW |  DVD-R/RW |  USBメモリー |  SDカード |
| 音楽ファイル | WMA | .wma | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | MP3 | .mp3 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | AAC | .m4a | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | WAV | .wav | — | — | ○ | ○ |
| | ATRAC3 | .at3 | — | — | — | ○* |
| | ATRAC advanced lossless | .aal | — | — | — | ○* |
| 映像ファイル | MPEG-4 | .avi | — | — | — | ○ |
| | | .mp4/.m4v | — | — | — | ○ |
| | H.264 | .mp4/.m4v | — | — | — | ○ |
| | WMV | .wmv | — | — | — | ○ |

○：対応 —：非対応

※：「AVIC-MRZ099W/MRZ099」で録音したファイルに限り再生可能。

メモ

- 雑音や故障の原因となりますので、異なるフォーマットのファイルに上記拡張子を付けしないでください。
- DRM (デジタル著作権管理) 付きのファイルの再生には対応していません。
- WMVのマルチビットレートファイルの再生は、動作保証外です。

音声コーデックについて

対応しているサンプリング周波数、ビットレート、量子化ビット数は以下のとおりです。

■対応音声コーデック一覧

AVIC-MRZ099W/MRZ099

| | WMA | MP3 | AAC | WAV |
|-----------|--|--|-------------------|-----------------|
| サンプリング周波数 | 8 kHz ~ 48 kHz | MPEG1: 32 kHz ~ 48 kHz MPEG2: 16 kHz ~ 24 kHz MPEG2.5: 8 kHz ~ 12 kHz | 8 kHz ~ 48 kHz | 16 kHz ~ 48 kHz |
| ビットレート | CBR: 5 kbps ~ 320 kbps VBR: 48 kbps ~ 192 kbps Quality based VBR: 10 kbps ~ 98 kbps | MPEG1: 32 kHz ~ 320 kHz MPEG2: 8 kHz ~ 160 kHz MPEG2.5: 8 kHz ~ 160 kHz | 8 kbps ~ 320 kbps | — |
| 量子化ビット数 | 16 | 16 | 16 | 16 |

AVIC-MRZ077/MRZ066

| | WMA | MP3 | AAC | WAV |
|---------------|--|--|-------------------|-----------------|
| サンプリング 周波数 | 8 kHz ~ 48 kHz | MPEG1: 32 kHz ~ 48 kHz MPEG2: 16 kHz ~ 24 kHz MPEG2.5: 8 kHz ~ 12 kHz | 8 kHz ~ 48 kHz | 16 kHz ~ 48 kHz |
| ビットレート | CBR: 5 kbps ~ 320 kbps VBR: 48 kbps ~ 192 kbps Quality based VBR: 10 kbps ~ 98 kbps | MPEG1: 32 kHz ~ 320 kHz MPEG2: 8 kHz ~ 160 kHz MPEG2.5: 8 kHz ~ 160 kHz | 8 kbps ~ 320 kbps | — |

メモ

- ・エンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- ・エンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- ・本機では、Windows Media Player Ver. 7/8/9を使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。
- ・下記形式には対応していません。
 - Windows Media Audio 9 Professional
 - Windows Media Audio 9 Lossless (可逆圧縮)
 - Windows Media Audio 9 Voice
- ・ひとつのMP3ファイルの中に、異なるバージョン (v1, v2) のID3タグ情報が存在する場合は、v2のタグ情報を優先に表示します。
- ・m3uのプレイリストには対応していません。
- ・MP3i (MP3 interactive) フォーマット、およびMP3 PROフォーマットには対応していません。
- ・本機では、Windows版のiTunesを使用してエンコードされたAACファイルの再生に対応しています。
- ・画像データを含むAACファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- ・AACファイルをエンコードしたiTunesのバージョンによっては、正しく再生されないことがあります。
- ・本機は、LPCM形式でエンコードされたWAVファイルの再生に対応しています。
- ・表示されるサンプリング周波数の桁は、すべてではないことがあります。

映像コーデックについて

対応している解像度、フレームレート、ビットレートは以下のとおりです。

■対応映像コーデック一覧

AVIC-MRZ099W/MRZ099

| | MPEG-4 Video | H.264 /AVC | WMV (VC-1) |
|--------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------|
| プロファイル | Advanced Simple Profile | Baseline Profile | Simple Profile |
| 最大解像度(ピクセル) @最大フレームレート | 720×576@25 fps 720×480@30 fps | 720×576@25 fps 720×480@30 fps | 720×480@30 fps |
| 最大ビットレート(平均 値/ピーク値) ^{*1} | 4 Mbps/8 Mbps | 2 Mbps/4 Mbps | 384 kbps/- |

AVIC-MRZ077/MRZ066

| | MPEG-4 Video | H.264 /AVC | WMV (VC-1) |
|--------------------------------------|-----------------|------------------|----------------|
| プロファイル | Simple Profile | Baseline Profile | Simple Profile |
| 最大解像度(ピクセル) @最大フレームレート | 400×240@30 fps | 400×240@30 fps | 400×240@30 fps |
| 最大ビットレート(平均 値/ピーク値) ^{*1} | 2.5 Mbps/8 Mbps | 1.5 Mbps/8 Mbps | 768 kbps/- |

※1：映像コンテンツ全体の平均ビットレートが最大ビットレート(平均値)を超えていなくても、瞬間的なビットレートが最大ビットレート(平均値)を連続的に超えると、正常に再生できない場合があります。

- 作成したアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。

音声コーデックと映像コーデックの組み合わせについて

対応している音声コーデックと映像コーデックの組み合わせは以下のとおりです。

| | | 映像ファイルフォーマット | | |
|---------|--------------|-------------------|-----------------|------------|
| | | AVI (.avi) | MP4 (.mp4/.m4v) | ASF (.wmv) |
| 音声コーデック | None | ○ | ○ | ○ |
| | MP3 | ○ | — | — |
| | WMA | — | — | ○ |
| | AAC | — | ○ | — |
| | AC3 | ○/— ^{※1} | — | — |
| | LPCM | —/○ ^{※2} | — | — |
| 映像コーデック | MPEG-4 Video | ○ | ○ | — |
| | H.264/AVC | — | ○ | — |
| | WMV (VC-1) | — | — | ○ |

○：対応 —：非対応

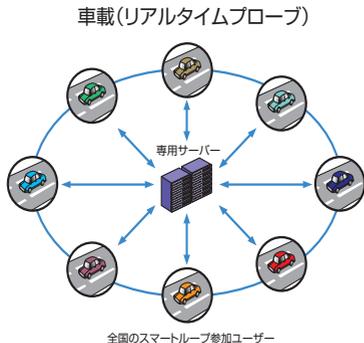
※1：「AVIC-MRZ099W/MRZ099」は対応、「AVIC-MRZ077/MRZ066」は非対応。

※2：「AVIC-MRZ099W/MRZ099」は非対応、「AVIC-MRZ077/MRZ066」は対応。

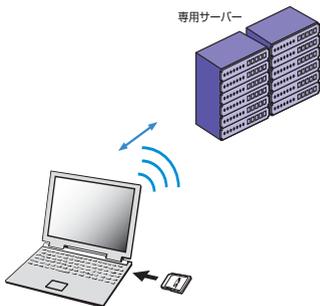
スマートループを利用してみよう

「スマートループ」とは、ご利用登録していただいたお客様からご提供いただく走行履歴データや地点データ、オートパーキングメモリーデータなどを専用サーバーで蓄積管理し、カロッツェリア独自のデータを加えてスマートループ参加ユーザーへ配信する情報共有システムです。

スマートループの利用方法は、車載でのご利用と、SDカードとナビスタジオをインストールしたパソコンを組み合わせてのご利用の2通りがあります。(蓄積型プローブ、スマートループドライブレポートなど)



SDカード + パソコン(蓄積型プローブ)



スマートループ渋滞情報を利用するために必要なこと

スマートループ渋滞情報を利用するためには、次の4つのステップで登録や設定を行います。

① お客様登録(無料)をする(→P22)

※ マイセットアップ(→P12)で「スマートループお試し登録」を行っていただいた場合は、お客様登録(無料)およびスマートループ設定の初期登録をしなくてもスマートループ渋滞情報を期間限定で体験していただくことができます。体験期間終了後も引き続きスマートループ渋滞情報をご利用される場合や、本機の全機能をお使いになる場合は、お客様登録(無料)を行ってください。

② 通信機器を準備する(→P50)

③ 携帯電話を登録する(→P21)

※ 通信モジュールをお使いの場合は、不要です。

④ スマートループ設定をする(→P50)

通信機器を準備する

■携帯電話をお使いの場合

Bluetooth対応の携帯電話をご用意ください。なお、Bluetooth対応の携帯電話でも、機種によっては本機との接続に制限が発生する場合があります。「本機と接続可能な通信機器について」(→P10)をご覧ください。事前に確認してください。

■データ通信専用通信モジュール「ND-DC1」(別売)をお使いの場合

USBケーブルを使って本機と接続します。別売のUSB接続ケーブル「CD-U120」をご購入ください。なお、他のUSB機器やiPodと同時使用をお考えの場合は、「CD-U120」を2本ご購入ください。

スマートループ設定をする

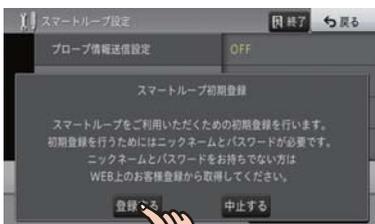
初期登録※、プローブ情報送信、SDカード保存設定、プローブ情報受信の設定を行います。プローブ情報とは、車両を通じて収集される位置・時刻・路面状況などのデータです。

スマートループでは、より正確な渋滞情報を得るために、お客様からプローブ情報をご提供いただいております。

※ 通信機能で「お客様登録」を行っている場合、または「スマートループお試し登録」を行っている場合は、手順2～4は行わず、手順5に進んでください。

1 [メニュー] を押し、設定・編集 - スマートループ設定 にタッチする

2 スマートループ初期登録 - 登録する にタッチする



専用サーバーに接続されます。

3 初期登録 (WEB でのお客様登録がお済の方はこちら) にタッチする

メモ

インターネットでのお客様登録 (→P22) がお済みでない場合は、お客様登録 (お客様登録がお済みでない方はこちら) にタッチしてお客様登録を行ってください。お客様登録完了後、手順5に進んでください。(お客様登録は無料)

4 ニックネームとパスワードを入力し、決定にタッチする

メモ

ニックネームとパスワードは、お客様登録時に設定されたものを入力します。お客様登録 (無料) がお済みでない場合は、先にお客様登録を行い (→P22)、ニックネームとパスワードを取得してください。

5 プローブ情報送信設定にタッチする



6 ON にタッチする



スマートループが利用可能になります。手順7以降は必要に応じて設定してください。

メモ

OFFのままでは、プローブ情報の送信を行わないため、スマートループは利用できません。
ONからOFFに変更すると、本機に保存されているプローブ情報の消去確認メッセージが表示されます。設定を変更する場合は、はい、キャンセルの場合はいえにタッチしてください。

7 SDカード保存設定にタッチする



8 蓄積型プローブ情報をSDカードに保存するタイミングを選んでタッチする



9 渋滞情報取得開始設定にタッチする



10 オートまたはマニュアルにタッチする



メモ

マニュアルに設定された場合は、「スマートループ 渋滞情報の取得のしかた」 (→ P52) をご覧になり、情報取得を行ってください。
オートに設定された場合は、本機が起動後、本機が初めて通信機器との接続を確認した時点で、1度だけ自動的に渋滞情報を取得します。

11 渋滞情報連続取得設定にタッチする



12 ONまたはOFFにタッチする



以上で、スマートループ設定は完了です。

メモ

- ON に設定すると、通信費および接続料金発生に関するメッセージが表示されます。通信費および接続料金はお客様負担となります。承諾される場合は、はいにタッチしてください。
- ONに設定された場合は、続けて取得時間間隔も設定してください。

スマートループ渋滞情報の取得のしかた

1 エアージェスチャーセンサーに手を近づけ、渋滞に長くタッチする



スマートループ渋滞情報を取得します。

メモ

- 渋滞情報メニュー (→P32) の情報取得にタッチして、スマートループ渋滞情報を取得することもできます。

スマートループ渋滞情報取得画面の見かた

取得したスマートループ渋滞情報は、破線で表示され、実線で表示されるVICS情報とは区別して表示されます。詳しくはP87の「記号・マーク一覧」をご覧ください。

一般道への表示

| | |
|----|---------------|
| 渋滞 | 赤色の破線（淡い赤色の枠） |
| 混雑 | 橙色の破線（淡い橙色の枠） |
| 順調 | 空色の破線（淡い青色の枠） |

有料道路への表示

| | |
|----|---------------|
| 渋滞 | 赤色の破線（濃い青色の枠） |
| 混雑 | 橙色の破線（濃い青色の枠） |
| 順調 | 空色の破線（濃い青色の枠） |

情報提供時刻表示

| | |
|----|---------------------|
| 橙色 | 情報受信後 5分未満の状態 |
| 青色 | 情報受信後 5分以上 30分未満の状態 |



メモ

- スマートループ渋滞情報が正しく取得できている場合は、情報提供時刻表示が「S 00:00」と表示されます。「0 00:00」と表示されている場合は、オンデマンドVICS 情報のみが取得されています。再度、スマートループ設定などを確認してください。
- スマートループおよびオンデマンドVICSについて、詳しくは「ユーザーズガイド」をご覧ください。（ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP8をご覧ください。）

ハンズフリー通話をしてみよう

Bluetooth接続された携帯電話と付属のハンズフリー通話用マイクを使って、ハンズフリー通話ができます。

メモ

- あらかじめ本機に携帯電話を登録してください。(→P21)

電話のかけかた

1 **メニュー** を押し、**携帯電話** にタッチする

2 発信方法を選んでタッチする



ダイヤル発信 数字入力画面を表示します。発信先の電話番号を入力して**発信**にタッチします。

メモリダイヤル あらかじめ本機に読み込んだ携帯電話のメモリダイヤルリストを表示します。発信相手を選んでタッチし、ポップアップメニューから**発信**にタッチします。

発信履歴 本機からの操作で発信した相手、または本機と接続中に着信した相手をリスト表示します。発信相手を選んでタッチします。

メモ

- 携帯電話本体を操作して発信することもできます。
- メモリダイヤルの読み込みや、その他のメニューについては、『ユーザーズガイド』をご覧ください。(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP8をご覧ください。)

電話の受けかた

1 電話を着信したら、**通話** にタッチする



通話が可能になり、通話中メニューが表示されます。



音量調整 受話音量を調整できます。

電話を切る 電話を切ります。

ハンズフリーOFF (ON) ハンズフリー通話または携帯電話本体での通話の切り換えを行います。

閉じる 通話中メニューを閉じます。

メモ

- 受話音量の調整は、ナビゲーションの音量調整メニューで行うこともできます。→P26の「ナビゲーションの音量を調整してみよう」

画面・画質調整を行う

あらかじめ[HUDセッティング]画面を表示してください。(→P55)

メモ

- 画面の輝度や周囲の状態によって、調整画面がはっきり見えない場合があります。画面の輝度を適切に調整(→P56)するか、調整画面がはっきり見えるような場所に移動してから操作してください。

AR HUDユニットを使ってみよう

別売のAR HUDユニット「ND-HUD10」を接続すると、ルートや交差点情報などをAR HUDユニットに送信し、フロントウィンドウの先に浮かべるように映し出すことができます。

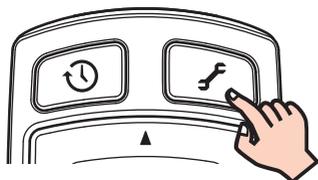
[HUDセッティング]画面を表示させる

[HUDセッティング]画面から、AR HUDユニットのさまざまな設定を行います。

注意

- AR HUDユニットは安全のため、走行中に設定操作できないようになっています。安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけて、操作してください。
- 設定中に走行を開始した場合は、設定画面が自動的に閉じます。

1 設定ボタンを押す



[HUDセッティング]画面が表示されます。

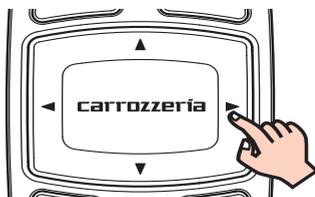


| | |
|-----------|--|
| [画面・画質調整] | AR HUDユニットの画面の傾きや歪みなどの映像出力に関する調整ができます。(→P55) |
| [機能設定] | AR HUDユニットの機能に関する設定ができます。(→P56) |
| [バージョン情報] | AR HUDユニットのバージョン情報とライセンス情報を表示します。(→P57) |
| [初期化] | AR HUDユニットの設定を初期化できます。(→P58) |

メモ

- [機能設定]は、AR HUDユニットがナビゲーション本体と接続されている場合に操作できます。
- 設定中に設定ボタンを押すと、[HUDセッティング]画面が閉じます。

1 ▲/▼ボタンで[画面・画質調整]を選択し、▶ボタンを押す



2 ▲/▼ボタンで項目を選択し、▶ボタンを押す



メモ

- ◀ボタンを押すと、[HUDセッティング]画面に戻ります。

以下の設定ができます。

■描画位置調整

1 ▲/▼ボタンで項目を選択し、▶ボタンを押す



| | |
|--------|-------------|
| [水平位置] | 水平位置を調整します。 |
| [垂直位置] | 垂直位置を調整します。 |

2 ▲/▼ボタンで格子模様の画像がすべて表示されるように調整する

例:正しく調整できている場合



例:正しく調整できていない場合



■画面サイズ調整

表示される画面のサイズを調整します。

- ▲/▼ボタンで表示される画面のサイズを画面端が切れないように調整する



■回転補正

画面の回転方向のずれを補正します。

- ▲/▼ボタンで格子模様の画像が水平・垂直になるように調整する
例：正しく調整できている場合



例：正しく調整できていない場合



■アスペクト比補正

画面のアスペクト比を調整します。

- ▲/▼ボタンで格子模様の画像の縦のサイズを格子が正方形になるように調整する



■歪み補正

画面の歪みを補正します。

- ▲/▼ボタンで項目を選択し、▶ボタンを押す



| | |
|--------|---------------|
| [台形歪み] | 台形のゆがみを補正します。 |
| [湾曲歪み] | 湾曲のゆがみを補正します。 |

- ▲/▼ボタンで格子模様の画像が長方形になるように調整する
例：[台形歪み]の調整



■ホワイトバランス

画面のホワイトバランスを調整します。

- ▲/▼ボタンで項目を選択し、▶ボタンを押す



| | |
|-----|--------------|
| [赤] | 赤色の輝度を調整します。 |
| [緑] | 緑色の輝度を調整します。 |
| [青] | 青色の輝度を調整します。 |

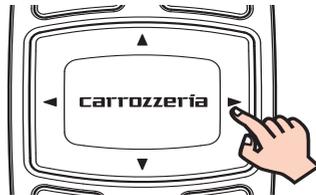
- ▲/▼ボタンで輝度を調整する
例：[赤]の調整



機能設定を行う

あらかじめ[HUDセッティング]画面を表示してください。(→P55)

- ▲/▼ボタンで[機能設定]を選択し、▶ボタンを押す



- ▲/▼ボタンで変更する項目を選択し、▶ボタンを押す



- ▲/▼ボタンで設定したい項目を選択する
例：[ディマー]の設定



設定が変更されます。

メモ

- ◀ボタンを押すと、[HUDセッティング]画面に戻ります。

以下の設定ができます。
*は工場出荷時の設定です。

ディーマー

画面の自動輝度調整の方法を設定します。

| | |
|---------|--|
| [オート] * | 周囲の明るさに応じて常に輝度を自動的に調整します。⊕/⊖ボタンの操作で、自動調整のレベルを変更できます。 |
| [セミオート] | 起動時およびスクリーン部を開いた時にのみ周囲の明るさに応じて輝度を自動的に調整します。⊕/⊖ボタンの操作で、直接輝度を変更できます。 |

表示色設定

画面の表示色を設定します。

| | |
|---------------|---------------------------------------|
| [ナビゲーション連動] * | ナビゲーション本体から昼夜情報を取得して、昼画面または夜画面を表示します。 |
| [昼色固定] | 昼画面で固定します。 |
| [夜色固定] | 夜画面で固定します。 |

時計表示

現在時刻の表示・非表示を設定します。

| | |
|--------|---------|
| [ON] * | 表示します。 |
| [OFF] | 表示しません。 |

メモ

- [OFF] に設定しても、HUDクロックモードには現在時刻が表示されます。

メッセージ表示

警告・通知 (ルートアドバイザー通知、オービス通知、踏切注意、合流注意) の表示・非表示を設定します。

| | |
|--------|---------|
| [ON] * | 表示します。 |
| [OFF] | 表示しません。 |

メモ

- ナビゲーション本体が警告・通知表示機能に対応していない場合は、[ON] に設定しても警告・通知は表示されません。

ETCレーン表示

ETCレーンがある本線上の料金所、または出口料金所に近づいた際の、ETCレーン案内の表示・非表示を設定します。

| | |
|--------|---------|
| [ON] * | 表示します。 |
| [OFF] | 表示しません。 |

オートスケール

HUDマップモードにおいて案内地点に近づいた際に地図スケールを自動的に拡大する、オートスケール機能の有効・無効を設定します。

| | |
|--------|-----------------|
| [ON] * | オートスケールを有効にします。 |
| [OFF] | オートスケールを無効にします。 |

到着予想時刻表示

到着予想時刻または残距離表示を設定します。

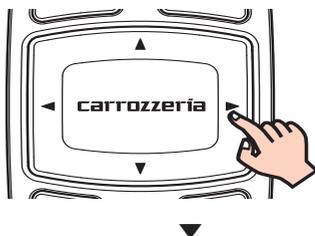
| | |
|------------|----------------------|
| [到着予想時刻] * | 到着予想時刻または経過時間を表示します。 |
| [距離] | 残距離または出発時刻を表示します。 |

| | | HUDセッティング ルート進捗度表示設定 | |
|---------------------|--------------------|-------------------------------|-----------------------------|
| | | 到着予想時刻 | 距離 |
| ナビゲーション本体到着予想時刻表示設定 | (到着時刻・残距離) 目的地 | 目的地までの到着予想時刻表示 🏁 22:56 到着 | 目的地までの残距離表示 🏁 あと 99.9km |
| | (到着時刻・残距離) 立寄り地 | 立寄り地までの到着予想時刻表示 🏁 22:56 到着 | 立寄り地までの残距離表示 🏁 あと 99.9km |
| | 目的地到着時刻・出発時刻 | 出発してからの経過時間表示 🏁 44h44m 経過 | 出発時刻の表示 🏁 22:56 出発 |

バージョン情報とライセンス情報を確認する

あらかじめ[HUDセッティング]画面を表示してください。(→P55)

1 ▲/▼ボタンで[バージョン情報]を選択し、▶ボタンを押す



| | |
|------------|--------------------------------|
| プログラムバージョン | AR HUDユニットのソフトウェアバージョンを確認できます。 |
| [ライセンス情報] | ▶ボタンを押すと、ライセンス情報を確認できます。 |

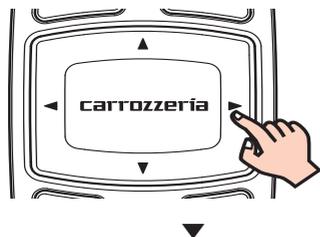
メモ

- ◀ ボタンを押すと、[HUDセッティング] 画面に戻ります。

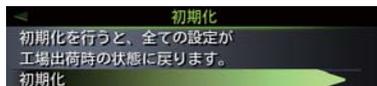
AR HUD ユニートを初期化する

あらかじめ [HUDセッティング] 画面を表示してください。(→P55)

- ▲/▼ボタンで[初期化]を選択し、▶ボタンを押す



確認メッセージが表示されます。



- ▶ ボタンを押す

設定が初期化されます。

メモ

- ◀ ボタンを押すと、[HUDセッティング] 画面に戻ります。

AR HUD ビューを操作する

本機にAR HUDユニットを接続すると、「HUDガイドモード」、「HUDマップモード」、「HUDハイウェイモード」、「HUDクロックモード」の4つのモードを使用することができます。

HUD ガイドモード

- ◀ ボタンで HUD ガイドモードに切り換わります。



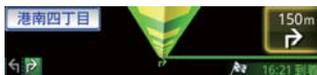
HUD マップモード

- ▶ ボタンで HUD マップモードに切り換わります。



HUD ドライバー表示

- 案内地点に近づくとき自動的に HUD ドライバー表示に切り換わります。



HUD ハイウェイモード

- 有料道路を走行すると、自動的に HUD ハイウェイモードに切り換わります。



HUD クロックモード

- Ⓢ ボタンを押すと、HUD クロックモードに切り換わります。再度 Ⓢ ボタンを押すと、もとのモードに切り換わります。



メモ

- 目的地が設定されていないときは、HUDドライバー表示は表示されません。
- [HUDセッティング]画面から設定を行っているときは、**Ⓜ**ボタンを押してもHUDクロックモードは表示されません。
- HUDガイドモードをご使用している場合自車がルートから外れているときや、この先にしばらく交差点がないときなど、交差点情報を表示できない場合があります。

ナビスタジオを使ってAR HUDユニットのバージョンアップをする

ナビゲーション本体と連携するパソコンリンクソフト「ナビスタジオ」を利用して、AR HUDユニットのバージョンアップを行うことができます。

ナビゲーション本体のバージョンアップを行った後にナビゲーションの画面にAR HUDユニットをバージョンアップするかどうか確認するメッセージが表示されます。

AR HUDユニットのバージョンアップは、ナビゲーション本体の操作で実行します。AR HUDユニットのバージョンアップ中は、ナビゲーション本体は使用できなくなります。

注意

- AR HUDユニットのバージョンアップは、車を安全な場所に停車してから行ってください。
- AR HUDユニットの電源が入っていても、画面表示がOFFのときはAR HUDユニットをバージョンアップできません。
- 以下の場合にも、バージョンアップ確認メッセージが表示されることがあります。
 - バージョンの異なるAR HUDユニットを接続したとき
 - AR HUDユニットの修理後にナビゲーションを接続したとき
- 更新データの転送中やAR HUDユニットの再起動中は車のエンジンを切ったりACCをOFFにしたりしないでください。

メモ

- ナビスタジオの動作環境、ご使用方法などに関しましては、ナビスタジオ内のオンラインヘルプをご覧ください。

1 ナビゲーション本体とAR HUDユニットをUSB接続ケーブルで接続する

→取付説明書

2 ナビスタジオでバージョンアップデータをダウンロードし、ナビゲーション本体のバージョンアップをする

→P62の「バージョンアップ(マップチャージ)をする」



ナビゲーションの画面にAR HUDユニットのバージョンアップ確認メッセージが表示されます。

4 はいにタッチする

メモ

- **いいえ**にタッチした場合、バージョンアップが中断され、AR HUDユニットが使用できなくなる場合があります。エンジンを切って再起動してから、もう一度バージョンアップをやり直してください。



ナビゲーション本体からAR HUDユニットへ更新データが転送されます。データの転送が完了し、プログラムデータの書き換えが完了すると、AR HUDユニットが自動的に再起動します。以上でAR HUDユニットのバージョンアップは完了です。

ナビスタジオを使ってみよう

パソコンリンクソフト「ナビスタジオ」をパソコンにダウンロードして、パソコンで作成したルートや地点の情報をSDカード経由で本機へ転送できます。また、録音データの編集（「AVIC-MRZ099W/MRZ099」のみ）やマップチャージ（地図更新）などもできます。

メモ

- ナビスタジオの全機能をご利用いただくには、お客様登録（→P22）が必要です。
- ナビスタジオを使用して全データ更新を行う場合には、16 GB以上のSDHCカードが必要です。
 - 8 GBのSDHCカードを2枚使用することでも、全データ更新は可能です。
 - お使いいただいているパソコンがSDHCカードに対応していない場合には、SDHCカードに対応したカードリーダー/ライターなどをご使用ください。
 - ナビスタジオで取得したり編集した情報は、本機にSDカードを挿入すると自動的に本機に反映されます。
 - 「AVIC-MRZ099W/MRZ099」で音楽CDの録音を開始すると反映は中断されますが、録音が終了すると自動的に再開されます。

動作環境について

下記の条件を満たしているパソコンにセットアップし、利用することができます。

| | | | | | |
|--------|---------|---|---|---|--|
| ナビスタジオ | OS | Windows XP Home/Professional SP3 以降 ※ 32 bit日本語OSのみ(64 bit版には対応しておりません) | Windows Vista Ultimate/ Business/Home Premium/Home Basic SP2 以降 ※ 32 bit日本語OSのみ(64 bit版には対応しておりません) | Windows 7 Ultimate/ Professional/Home Premium SP1 以降 ※ いずれも日本語版のみ対応 64 bit版Windowsでは、32bit互換モード(WOW64)で動作します。 | Windows 8 Enterprise/Pro ※ Windows RTには対応しておりません。 ※ いずれも日本語版のみ対応 64 bit版Windowsでは、32bit互換モード(WOW64)で動作します。 |
| | メモリ | 512 MB以上 | 1 GB以上 | 32 bit版：1 GB以上 64 bit版：2 GB以上 | |
| | CPU | Intel Pentium® III 450 MHz以上 | Intel Pentium® III 800 MHz以上 | Intel Pentium® III 1 GHz以上 | |
| | ハードディスク | 100 MB以上の空き容量（地図データ更新時には約 16 GBの空き容量が必要です。） | | | |
| | ディスプレイ | 解像度 1 024x768・発色数 16bit (65 536色) 以上 | | | |
| | その他 | <ul style="list-style-type: none"> ●インターネットに接続できる環境が必要です。 ●インストール時、使用時ともにシステム管理者（Administrator）権限が必要です。 ●初回ご利用時はナビゲーションにてSDカードの初期登録を行っていただく必要があります。 ●SDHCカードを認識できる環境が必要です。お使いのパソコンがSDHCカードに対応していない場合は、市販のUSBカードリーダーなどをご使用ください。 | | | |
| | 注意事項 | <ul style="list-style-type: none"> ●上記の条件を満たすすべてのパソコンで動作を保証するものではありません。 ●Macintoshには非対応です。 ●Windows 8 Modern UI design機能は非対応です。 ●OSのアップグレード環境での動作は保証していません。 ●マルチブート環境での動作は保証していません。 ●お客様が自作されたパソコンでの動作は保証していません。 ●他のソフトウェアが同時に起動している場合はこの限りではありません。 ●パソコンの環境によっては、SDカードが認識できなかったり一部機能をご利用いただけないなどの不具合が発生する場合があります。その際の損失並びにその他の直接または間接的な障害につきましては、当社および販売店等に故意または重過失がない限り、当社および販売店などはその責任を負いません。 ●パソコン環境に関するお問い合わせは、パソコン購入元の各メーカー、または販売店にお願いします。 | | | |

ナビスタジオのダウンロード・ セットアップについて

下記URLにアクセスしてダウンロードし、表示される内容に従ってセットアップを行ってください。インターネット接続ができないパソコンの場合、セットアップができませんのでご注意ください。

<http://pioneer.jp/car/navistudio/>

メモ

- ナビスタジオの詳しいセットアップ方法は、『セットアップマニュアル』をご覧ください。『セットアップマニュアル』は、ナビスタジオと同じ上記URLでダウンロードできます。

SDカードを本機に登録する

本機とパソコン間でのデータ転送などは、SDカードを使って行います。使用できるSDカードは、本機に登録されたSDカードのみとなります。

1 ナビゲーション本体にSDカードを挿入する(→P24)

本機をご購入後はじめてSDカードを挿入すると、SDカード登録確認メッセージが表示されます。

2 はいにタッチする



挿入したSDカードが、ナビスタジオ用として本機に登録されます。

メモ

- いいえにタッチした場合は、登録が行われず、ナビスタジオ用としては使えません。

3 確認にタッチする



SDカードを取り出し、パソコンにセットしてください。以降は『セットアップマニュアル』をご覧ください。

メモ

- SDカード登録確認メッセージは、一度登録が完了したあとは別のSDカードを挿入しても表示されません。はじめに登録したSDカードを別のものに変更したい場合は、システム設定メニュー(→P28)の「その他設定」-「SDカード登録確認メッセージ表示」をONに設定してください。
- あらかじめ、SDカードのライトプロテクト(書き込み防止)を解除してください。

ナビスタジオを使ってできること

ナビスタジオを起動するとランチャーが表示されます。ランチャー内の各アイコンをクリックするとアプリケーションが起動します。各機能に関する詳しい説明は、ナビスタジオのオンラインヘルプをご覧ください。

ランチャー



① お客様登録メニュー

ナビスタジオセットアップ画面を表示して、お客様登録や各種セットアップができます。

② メニュー

機種選択や各種設定ができます。オンラインヘルプも、こちらからご覧いただけます。

③ SDカード管理機能

SDカードの取り出し、処理中断など、SDカードの動作管理ができます。

④ 情報更新メニュー

ブローチ情報のアップロードやスマートループ渋滞情報、ウェザーライブのダウンロードなどができます。

⑤ アップデートマネージャー

パソコン上で、地図データの更新、各種データのダウンロード、各種データの転送などのデータ管理ができます。

⑥ メンテナンスマネージャー

パソコン上で、登録地データの編集などのデータ編集ができます。

⑦ MSVタイトルエディター

「AVIC-MRZ099W/MRZ099」でSDカードに録音した音楽ファイルのタイトルを専用サーバーのGracenoteデータベースから取得したり、書き換えることができます。また、SDカードに録音した楽曲の編集・削除もできます。

⑧ MapFan Web for カロツツェリア

パソコン上で、地図表示、目的地検索、ルート探索、ドライブプランの作成、地点登録・編集などのナビゲーション操作ができます。作成・登録・編集したデータをSDカードまたは専用サーバー経由で本機に転送し、利用できます。

ご利用には、スマートループの利用登録とMapFan会員IDの登録が必要です。

バージョンアップ (マップチャージ) をする

マップチャージを利用するときは、以下の手順で行ってください。

✎メモ

- マップチャージに関する詳しい説明は、「ユーザーズガイド」をご覧ください。(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP8をご覧ください。)

■ナビゲーションでの操作

1 SDカードをナビゲーションに登録する (→P61)

■パソコンでの操作

1 お客様登録(無料)をする (→P22)

2 ナビスタジオをインストールする (→P60)

インターネット接続可能なパソコンを準備し、ナビスタジオをダウンロードしてインストールします。

3 SDカードをパソコンにセットする
ナビゲーションに登録したSDカードをパソコンにセットします。

✎メモ

- パソコンがSDHCに対応していない場合は、SDHC対応のカードリーダーを準備してください。

4 初期登録を行う

SDカードをパソコンにセットするとナビスタジオが自動起動するので、お客様登録時に取得したニックネームとパスワードを入力します。

✎メモ

- 自動起動しない場合は、デスクトップのナビスタジオのアイコンをダブルクリックしてください。

5 アップデートマネージャーを起動し、「開始」ボタンをクリックして更新データをダウンロードする

全データ更新の場合は、ダウンロード予約が必要です。

✎メモ

- 全データ更新は年2回、地点情報データの更新および道路データの更新は毎月を予定しています。(整備スケジュールの都合上、更新対象がない月もあります。)

■ナビゲーションでの操作

1 SDカードを本機に入れる (→P24)

更新データが保存されたSDカードをパソコンから取り外し、ナビゲーションに挿入します。

ナビゲーションに表示されるメッセージに従い、バージョンアップを行います。

✎メモ

- 地点情報データの更新/道路データの更新の場合、バージョンアップ中もナビゲーションを利用できます。全データ更新の場合、バージョンアップ中はナビゲーションを利用できません。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。チェックしても直らないときはP75の「保証書とアフターサービス」をお読みになり修理を依頼してください。

| 共通項目 | | |
|-----------------------------------|------------------------------|--|
| 症状 | 原因 | 処置 |
| 電源が入らない、動作しない。 | エンジンがかかっていない。 | エンジンまたはACCをONにしてください。 |
| | ヒューズが切れている。 | ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。 |
| | 接続ケーブルが正しく接続されていない。 | 接続ケーブルが正しく接続されているかご確認ください。⇒「取付説明書」 |
| 起動に時間がかかるときがある。 | 周囲の温度が極度に低いまたは高い。 | 本機には、使用温度範囲(→P76)がありません。使用温度範囲になるまで、エアコンなどで温度を調節してください。 |
| | 本機がシステムの最適化を行っている。 | 自動的に行われる処理で、故障ではありません。 |
| 画面に何も表示されない。 | ナビスタンバイ状態になっている。 | 画面にタッチして、ナビスタンバイを解除してください。 |
| 画質調整ができない。 | パーキングブレーキをかけていない。 | パーキングブレーキをかけてください。 |
| 画面に小さな黒い点や明るく光る点がある。 | 液晶特有の現象で、故障ではありません。 | — |
| 画面の残像が目立ったり、画質が劣化して見える。 | 周囲の温度が極端に低い。 | 周囲の温度が高まると通常画質に戻ります。 |
| バッテリー交換後、本機を起動したらパスワード入力画面になっている。 | セキュリティロックが動作している。 | 設定したパスワードを入力して、ロックを解除してください。⇒「ユーザーズガイド」(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP8をご覧ください。) |
| タッチキーの表示が薄く、タッチしても反応しない。 | 走行規制などで、走行中は操作できないタッチキーである。 | 車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてから操作してください。 |
| | 設定や接続状況などにより、操作できないタッチキーである。 | 本書や取付説明書またはユーザーズガイドで設定や接続状態を確認してください。(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP8をご覧ください。) |
| Bluetoothを使って携帯電話と接続できない。 | Bluetooth機器登録をしていない。 | 接続したい携帯電話を本機に機器登録してください。→P21の「携帯電話を登録しよう」 |
| | 接続していた携帯電話を別の携帯電話に変えた。 | 変えた携帯電話を本機に登録するか、登録済みの携帯電話に変えた場合は携帯電話の切り換え操作を行ってください。 |
| エアージェスチャーが正しく動作しない。 | エアージェスチャーセンサーに太陽光が直接当たっている。 | エアージェスチャーセンサーに当たる光を遮ってください。 |
| 自転車位置を測位できない。 | GPSアンテナの上に電波をさえぎる物を置いている。 | GPSアンテナの上には何も置かないでください。 |
| | GPS受信感度が低い。 | GPSアンテナの感度を確認して、GPSアンテナの位置を変更してください。車内に取り付けている場合は、必ず金属シートを使用してください。 |
| 測位誤差が大きい。 | 3Dハイブリッドセンサーが正しく学習されていない。 | 3Dハイブリッドセンサーのメモリーをリセットして、学習をやり直してください。⇒「ユーザーズガイド」ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP8をご覧ください。) |
| 自転車位置が正しくない。 | 自転車位置がずれている。 | GPS測位が可能な状態で、しばらく走行すると自転車位置が修正されます。 |
| | 車速パルスが正しく入力されていない。 | 接続状態画面で、接続を確認してください。⇒「取付説明書」 |
| 走行を開始しても地図が動かない。 | 現在地画面を表示していない。 | 現在地 を押して、現在地画面にしてください。 |

困ったときは

| 症状 | 原因 | 処置 |
|-------------------------------------|---------------------------------|---|
| 地図の向きが変わらない(自車マークが上でない方向に向かう)。 | 地図の向きがノースアップになっている。 | 地図の向きをヘディングアップに変更してください。→P37の「地図の向きを変える」 |
| ナビゲーションの案内音声が出ない。 | ナビゲーションの音量設定が0になっている。 | ナビゲーションの音量設定を調整してください。→P26の「ナビゲーションの音量を調整してみよう」 |
| 地図上にVICS情報が表示されない。 | 受信したVICS情報が表示されるまで数分かかることがある。 | 表示されるまで、お待ちください。 |
| | VICSの受信感度が良くない。 | 放送局を最も受信感度の良い放送局に変更してください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP8をご覧ください。) |
| ハンズフリー通話時に、通話相手側のエコー(残響音)が大きいく聞こえる。 | 通話相手の声(スピーカーからの音声)がマイクに入り込んでいる。 | エコーは相手の声が車両スピーカーを通してマイクに入り込むことが原因で発生するため、受信音量を小さくすることで改善できません。ただし、本機のしくみ上、完全にエコーをなくすことはできません。また、通話相手側が大きな声で喋るとさらに聞き取りにくくなりますので、普通の大きさの声で通話してください。 |

オーディオ共通項目

| 症状 | 原因 | 処置 |
|---|-----------------------|--|
| テレビやDVDなどの映像が見られない。 | 走行中である。 | 本機は、安全のため走行中にテレビやDVDなどの映像を見ることはできません。映像をご覧になる場合は、安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけて、お楽しみください。 |
| | パーキングブレーキコードを接続していない。 | パーキングブレーキコードを正しく接続してください。⇒『取付説明書』 |
| 音声案内時やハンズフリー通話の着信時に、一時的にオーディオの音が途切れたり、聞こえづらくなる。 | 消音設定がされている。 | 消音するタイミングや消音レベルを調整してください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP8をご覧ください。) |
| 前/後/左/右のスピーカーから音が出ない。 | 前後左右の音量バランスの調整が適切でない。 | 正しく調整・設定してください。⇒『ユーザーズガイド』ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP8をご覧ください。) |

FM/AM

| 症状 | 原因 | 処置 |
|---------------------------------|------------------------|--|
| ラジオ受信中に“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。 | 放送局の電波が弱い。 | 他の放送局を選局してください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP8をご覧ください。) |
| | 周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。 | 受信状態の安定した場所に移動して、受信してください。 |
| 自動選局できない。 | 強い電波の放送局がない。 | 手動で選局してください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP8をご覧ください。) |
| FMは受信するが、AMが受信できない。 受信感度が悪い。 | アンテナコントロールが接続されていない。 | アンテナコントロールを正しく接続してください。⇒『取付説明書』 |
| | 自動車のアンテナが伸びていない。 | アンテナを十分に伸ばしてください。 |

DVD

| 症状 | 原因 | 処置 |
|---------|---------------------------|---|
| 再生できない。 | 本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。 | 本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください。→P74の「DVDに表示されているマークの意味」 |
| | ファイナライズされていないディスクを挿入している。 | ファイナライズされたディスクを挿入してください。 |

| 症状 | 原因 | 処置 |
|-------------------------|--|--|
| ディスクを入れても自動的に再生しない。 | ディスクによっては、ディスクメニューが表示されて自動的に本編を再生しない場合がある。 | ディスクメニューを操作して、再生を開始するか、オートプレイをONに設定してください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP8をご覧ください。) |
| 音が出ない。 | 静止画、スロー、コマ送り再生中である。 | 静止画、スロー、コマ送り再生中に、音声を聞くことはできません。 |
| 視聴制限のメッセージが表示され、再生できない。 | 視聴制限がかかっている。 | 視聴制限を解除、またはレベルを変更してください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP8をご覧ください。) |
| 音声言語、字幕言語が切り換えられない。 | 複数の言語が収録されていないDVDを再生している。 | 複数の言語が収録されていないディスクでは、切り換えられません。 |
| | ディスクメニューでしか切り換えできないように制限されている。 | ディスクメニューで切り換えてください。 |
| 初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。 | 初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDを再生している。 | 初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDでは、選んだ言語には切り換わりません。 |
| アングルを切り換えて見ることができない。 | 複数のアングルが収録されていないDVDを再生している。 | 複数のアングルが収録されていないDVDでは、切り換えられません。 |
| | 複数のアングルが収録されていない場面で操作している。 | 複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。 |
| ディスク再生中に映像が乱れる。または暗い。 | ディスクコピー禁止信号が入っている。(ディスクによって入っている場合がある。) | アナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出るものがあります。(故障ではありません。) |
| ⓪(禁止マーク)が画面に出て操作できない。 | ディスクが禁止している操作である。 | この操作はできません。 |
| | ディスクの構造上対応できない操作をしている。 | この操作はできません。 |
| 画面が止まり、操作を受け付けられない。 | ディスク再生中にデータを読み取れなくなった。 | ■にタッチしてから、もう一度再生してください。 |

困ったときは

CD、ROM (WMA/MP3/AAC)

| 症状 | 原因 | 処置 |
|------------------------------|---|--|
| CDの再生開始に時間がかかる(本機起動直後など)。 | オート録音モード設定が「ON」でSDカードが挿入されていない。(['AVIC-MRZ099W']および['AVIC-MRZ099']のみ) | ソース別設定のMSV/SD設定(→P44)で、オート録音モード設定を「OFF」に設定してください。 |
| CD-RやCD-RW、CD-ROMを再生できない。 | ディスクがファイナライズされていない。 | ディスクをファイナライズしてください。 |
| WMA/MP3/AACファイルを再生できない。 | WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」の拡張子が付いていない。 | WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」の付いたディスクに交換してください。 |
| | 対応していないビットレートで記録されている。 | 対応しているビットレートで記録されたWMA/MP3/AACファイルにしてください。 |
| WMA/MP3/AACファイル再生中に大きな雑音が出る。 | ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。 | ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。 |
| | ファイルの形式と拡張子があっていない。 | ディスクを交換してください(WMA形式でないファイルに「.wma」、MP3形式でないファイルに「.mp3」、AAC形式でないファイルに「.m4a」の拡張子を付けたCD-ROMを再生しないでください)。 |
| 聴きたいWMA/MP3/AACファイルが見つからない。 | WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」の拡張子が付いていない。 | WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」の付いたディスクに交換してください。 |

| 症状 | 原因 | 処置 |
|-------------------------------|--|---|
| フォルダー名やファイル名が正しく表示されない。 | ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。 | ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。 |
| WMA/MP3/AACファイル再生が、記録した順と異なる。 | WMA/MP3/AACファイルは、記録したときの順番どおりに再生されない場合がある。 | ライティングソフトウェアによっては、フォルダー名、ファイル名のはじめに数字(01、02など)を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。 |

音楽CDの録音・MSV<AVIC-MRZ099W/MRZ099>

| 症状 | 原因 | 処置 |
|---------------------------------|---|---|
| CDが録音されていない。 | CDの録音が中止された。 | CDの録音には制限があります。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP8をご覧ください。) |
| 録音したCDが「CD-日付 時刻」で表示されている。 | タイトルが複数候補あったかタイトル情報が本機に収録されていない。 | タイトルの取得を行ってください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP8をご覧ください。) |
| 録音、マイミックスへの追加ができない。 | 低温のため、SDカードへのアクセスができない。 録音・マイミックスの制御データが破損している。 | 温度が上がると、しばらくお待ちください。 「録音データ全消去」を行って、操作し直してください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP8をご覧ください。) |
| 録音した楽曲を再生できない。 マイミックス再生できない。 | SDカードのライトプロテクトスイッチがロックされている。 録音・マイミックスの制御データが破損している。 | ライトプロテクトスイッチを解除してください。 「録音データ全消去」を行って、操作し直してください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP8をご覧ください。) |

困ったときは

地上デジタルテレビ

| 症状 | 原因 | 処置 |
|---|--|---|
| 画面が止まっている。 画面がカクカクして映る、コマ落ちしている。 画面に正方形のノイズが映る。 | 受信状態が悪くなった場合などは、そのような症状になります。これらは地上デジタル放送特有の現象で、故障ではありません。 | 受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。 |
| 受信できない。 「受信できません」というメッセージが表示される。 | チャンネルスキャンをしていない。 移動により、受信中のチャンネル電波が弱くなった。 | 初めて使うときや「視聴者設定クリア」をしたときは、チャンネルスキャンをしてください。→P19の「テレビを見るための準備をしよう」 他の中継局(チャンネル)に切り換えてください。エリアプリセットで受信中は、受信可能な中継局を自動的に探して切り換えることができます。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP8をご覧ください。) |
| | 放送局(チャンネル)が増えたり、他のエリアに移動して受信環境が変わった。 | 受信環境が変わったときは、チャンネルスキャンをしてください。→P19の「テレビを見るための準備をしよう」 |
| | 受信レベルが低下して、放送が受信できない。 | 受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。 |
| | 車両に電波シールドガラスが使われている。 | 外付けの地上デジタルテレビ用アンテナを使用してください。 |

| 症状 | 原因 | 処置 |
|--|-----------------------------|---|
| メッセージが表示され、視聴ができない。 | miniB-CASカードを挿入していない。 | miniB-CASカードを挿入してください。 →P19の「テレビを見るための準備をしよう」 |
| | miniB-CASカードの表裏を間違えて挿入している。 | miniB-CASカードを正しい向きで挿入してください。→P19の「テレビを見るための準備をしよう」 |
| | 本機が対応しない放送を視聴しようとしている。 | 以下の放送には対応していません。 ・番組単位で購入できる有料放送(ペイ・パー・ビュー) ・双方向通信を使うデータ放送 対応している放送に切り換えてください。 |
| データ放送画面に切り換えられない。 映像切換、音声切換、字幕切換、音声多重のタッチキーが薄く表示されていて、切り換えられない。 | 受信中の番組が、それらの情報を放送していない。 | それらの情報を放送している番組で操作してください。 |

| SD/USB | | |
|--|---|--|
| 症状 | 原因 | 処置 |
| WMA/MP3/AAC/WAVファイルを再生できない。 | WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」、WAVファイルに「.wav」の拡張子が付いていない。 | WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」、WAVファイルに拡張子「.wav」を付けてください。 |
| | 対応していないビットレートで記録されている。 | 対応しているビットレートで記録されたWMA/MP3/AAC/WAVファイルにしてください。 |
| 聴きたいWMA/MP3/AAC/WAVファイルが見つからない。 | WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」、WAVファイルに「.wav」の拡張子が付いていない。 | WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」、WAVファイルに拡張子「.wav」を付けてください。 |
| | SDカード内に保存されたWMA/MP3/AAC/WAVファイルの位置が正しくない。 | SDカード内の正しい位置に移動させてください。→P74の「SDカードに関するご注意」 |
| SDカードに保存した映像ファイルを再生すると、音声は出るが、映像が見えない。 | 走行中である。 | 走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。 |
| SDカードに保存したファイルを再生中にAVソースがOFFになる。 | 地図データ(差分情報のみ)の更新中である。 | 地図データ(差分情報)更新中は、AVソースがOFFになります。地図データ(差分情報のみ)の更新完了後、再度AVソースを選択し、再生を再開してください。 |
| お持ちのパソコンで認識しているSDカードが、本機で認識しない。 | SDカードが正しくフォーマットされていない。 | 専用フォーマットソフトを使用し、フォーマットしてください。フォーマットをすると、SDカードに記録されたデータがすべて消去されます。必ずデータのバックアップを行ってください。フォーマットソフトは、SDアシエーションの、以下のホームページから入手できます。 URL: https://www.sdcard.org/jp/ |

| iPod | | |
|-------------|------------------------------|---|
| 症状 | 原因 | 処置 |
| 接続できない。 | iPod用接続ケーブル(別売)が正しく接続されていない。 | 接続ケーブルが正しく接続されているかご確認ください。⇒「取付説明書」 |
| | お使いのiPodが本機に対応していない。 | 対応iPodについては、カロツツェリアホームページ(http://carrozzeria.jp)でご確認ください。 |
| ビデオが再生できない。 | 接続しているiPodがビデオ機能に対応していない。 | ビデオ機能に対応したiPodでない、ビデオはご覧になれません。 |
| | 接続したiPodとの認証に失敗した。 | 再度、接続して認証を行ってください。 |

Bluetooth Audio

| 症状 | 原因 | 処置 |
|-------------------|---|---|
| 再生できない。 | Bluetooth機器登録をしていない。 | Bluetooth Audioをお使いになるには、Bluetooth機器を本機に機器登録する必要があります。→P21の「携帯電話を登録しよう」 |
| | 登録したBluetooth機器の設定がハンズフリー電話機能のみを使用する設定になっている。 | Bluetooth Audioとして使用する設定に変更してください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法は、本書のP8をご覧ください。) |
| リピートやランダム再生ができない。 | Bluetooth機器の接続プロファイルがA2DP+AVRCP Ver1.0以下である。 | プロファイルによって操作できる機能や表示される内容に制限があります。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法は、本書のP8をご覧ください。) |

エラーメッセージと対処方法

共通項目

| メッセージ | 原因 | 処置 |
|---|----------------------------------|---|
| 走行中は操作できません。 | 走行規制のかかった操作を行おうとした。 | 車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてから操作してください。 |
| ロック解除に失敗しました。 | パスワードが間違っている可能性があります。 | パスワードを再確認して、もう一度操作してください。 |
| スピーカーの配線、または本機に異常を検出しました。本機の電源を入れ直しても復帰しない場合は、お買上げの販売店またはパイオニア修理受付窓口にご相談ください。 | スピーカーの接続状態または本機に異常があり、保護回路が動作した。 | スピーカーの接続状態をご確認ください。エンジンスイッチをOFF→ONしてもメッセージが消えない場合は、販売店またはパイオニア修理受付窓口にご相談ください。 |

ナビゲーション

| メッセージ | 原因 | 処置 |
|--|-------------------------|---|
| 探索できませんでした。 | 目的地または出発地の場所が適切ではない。 | 目的地または出発地の位置を変えてください。 |
| 付近にルート探索対象道路がありません。 | 目的地または出発地の場所が適切ではない。 | 目的地または出発地の位置を変えてください。 |
| 行き先が遠すぎるため、探索できませんでした。 | 目的地または出発地の場所が適切ではない。 | 目的地または出発地の位置を変えてください。 |
| 通行規制により、通行できない区間があるため探索できませんでした。 | 目的地または出発地の場所が適切ではない。 | 目的地または出発地の位置を変えてください。 |
| 行き先につながる道路が見つからないため探索できませんでした。 | 目的地または出発地の場所が適切ではない。 | 目的地または出発地の位置を変えてください。 |
| 行き先または出発地付近にルート探索対象道路がないため探索できませんでした。 | 目的地または出発地の場所が適切ではない。 | 目的地または出発地の位置を変えてください。 |
| 日時データがないため、このルートは時間規制や渋滞予測情報を考慮していません。 | GPS衛星からの電波が受信できていない。 | 本機の日時データはGPS衛星からのデータに基づいています。GPS衛星からの電波を受信しやすい環境に移動してください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法は、本書のP8をご覧ください。) |
| 自車位置修正できませんでした。 | 自車位置を修正できる道路が周囲に見つからない。 | 周囲に自車位置修正可能な道路(一般道路と有料道路が並行しているような道路)を走行時に操作してください。 |

| 渋滞情報 | | |
|-------------------------|-----------------------|--------------------------|
| メッセージ | 原因 | 処置 |
| スマートループ渋滞情報が取得できませんでした。 | スマートループ渋滞情報を取得できていない。 | 時間や場所をずらしてから、再度受信してください。 |

| 通信 | | |
|---------------------|-----------------------------|---|
| メッセージ | 原因 | 処置 |
| 回線の接続に失敗しました。 | 何らかの原因で回線接続に失敗している。 | しばらくしてから再度操作するか、本機を再起動してください。 |
| サーバーへの接続に失敗しました。 | 何らかの原因により通信接続を切断(タイムアウト)した。 | しばらくしてから再度操作するか、本機を再起動してください。 |
| データ通信タイムアウトが発生しました。 | 何らかの原因により通信接続を切断(タイムアウト)した。 | しばらくしてから再度操作するか、本機を再起動してください。 |
| データ通信エラーが発生しました。 | 何らかの原因により通信接続を切断(タイムアウト)した。 | しばらくしてから再度操作するか、本機を再起動してください。 |
| 通信機器が接続されていません。 | 携帯電話または通信モジュールが接続されていない。 | 携帯電話または通信モジュールを接続してください。 |
| 通信機器が使用できません。 | 接続中の通信機器が故障している可能性がある。 | 他の通信機能が利用可能かお試しください。他の通信機能も利用できない場合は、通信機器を変更するか、修理してください。 |

| Bluetooth | | |
|------------------|--|---|
| メッセージ | 原因 | 処置 |
| 携帯電話が接続されていません。 | 携帯電話が接続されていない。 | 携帯電話を接続してください。 |
| 携帯電話との接続に失敗しました。 | 何らかの原因により携帯電話との接続が失敗している。 | ナビゲーションを操作して、携帯電話を接続してください。 |
| 携帯電話が使用できません。 | 本機の通信機能を利用するために接続中の携帯電話がDUN(ダイヤルアップネットワーク)に非対応または、携帯電話を待ち受け画面にしないとDUN通信が利用できない機種がある。 | 接続中の携帯電話のDUN対応状況をお調べいただくか、携帯電話を待ち受け画面にしてください。 |
| 現在接続はできません。 | 接続しようとしているBluetooth機器が、データ通信中である。 | データ通信終了後、再度操作してください。 |
| 現在削除はできません。 | 使用中のBluetooth機器を削除しようとした。 | Bluetooth機器の使用を中止してから、削除してください。 |

| SDカード | | |
|----------------------------|--|--|
| メッセージ | 原因 | 処置 |
| このSDカードは本機では使用できません。 | 本機で使用できないSDカードを挿入した。 SDカードが正しくフォーマットされていない。 | 本機が対応するSDカードをご確認ください。 →P76の「仕様」 専用フォーマットソフトを使用し、フォーマットしてください。フォーマットをすると、SDカードに記録されたデータがすべて消去されます。必ずデータのバックアップを行ってください。フォーマットソフトは、SDアシエーションの、以下のホームページから入手できます。 URL: https://www.sdcard.org/jp/ |
| 録音したCDが「CD-日付 時刻」で表示されている。 | タイトルが複数候補あったかタイトル情報が本機に収録されていない。 | タイトルの取得を行ってください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP8をご覧ください。) |
| 録音、マイミックスへの追加ができない。 | 低温のため、SDカードへのアクセスができない。 録音・マイミックスの制御データが破損している。 | 温度が上がるまで、しばらくお待ちください。 「録音データ全消去」を行って、操作し直してください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP8をご覧ください。) |

| メッセージ | 原因 | 処置 |
|---------------------------------|------------------------------|---|
| 録音した楽曲を再生できない。 マイミックス再生できない。 | SDカードのライトプロテクトスイッチがロックされている。 | ライトプロテクトスイッチを解除してください。 |
| | 録音・マイミックスの制御データが破損している。 | 「録音データ全消去」を行って、操作し直してください。⇒『ユーザーズガイド』（ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP8をご覧ください。） |

USB

| メッセージ | 原因 | 処置 |
|------------------------|------------------------|---|
| このUSBメモリーは本機では使用できません。 | 本機で使用できないUSBメモリーを接続した。 | 本機が対応するUSBメモリーをご確認ください。→P76の「仕様」 |
| | USBメモリーを2本同時に接続した。 | 本機が認識できるUSBメモリーは1本のみです。2本のうちどちらかを外し、残った1本をもう一度接続し直してください。 |

携帯電話

| メッセージ | 原因 | 処置 |
|---|---|------------------------|
| 読み込みができませんでした。 接続を確認してもう一度やり直してください。 | 電話帳転送を行うために接続中の携帯電話に、メールアドレスや電話番号が登録されているメモリアイダルが存在しない。 | 携帯電話のメモリアイダルを確認してください。 |

音楽ディスク

| メッセージ | 原因 | 処置 |
|---|--|---|
| 高温、または低温のため、再生できません。 ディスクを取り出してください。 | 本機の内部温度が高い、または低い。 | ディスクを取り出し、内部温度が正常になるまでお待ちください。改善されない場合は、販売店またはパイオニアカスタマーサポートセンターにご相談ください。 |
| このCDは録音できません。<AVIC-MRZ099W/MRZ099> | コピー禁止のディスクから録音しようとしている。 | 録音可能なディスクに交換してください。 |
| 録音再生エラーが発生しました。 CDの通常再生に切り換えます。<AVIC-MRZ099W/MRZ099> | 何らかの原因で録音ができないとき。 | ディスクに汚れやキズ・そりがなければ確認してください。 |
| 録音曲数の制限を超えたため、これ以上は録音できません。<AVIC-MRZ099W/MRZ099> | SDカードに保存した録音データやパソコンから取り込んだ楽曲データが上限に達している。(トラック5000曲、アルバム300件まで) | 聴かなくなった録音済みデータやパソコンからコピーしたMP3ファイルなどを削除してください。⇒『ユーザーズガイド』（ユーザーズガイドの閲覧方法は、本書のP8をご覧ください。） |
| アルバム数が上限に達しているため、これ以上録音できません。<AVIC-MRZ099W/MRZ099> | SDカードに保存した録音データやパソコンから取り込んだ楽曲データが上限に達している。(トラック5000曲、アルバム300件まで) | 聴かなくなった録音済みデータやパソコンからコピーしたMP3ファイルなどを削除してください。⇒『ユーザーズガイド』（ユーザーズガイドの閲覧方法は、本書のP8をご覧ください。） |
| 録音中は再生できません。<AVIC-MRZ099W/MRZ099> | CD録音中にMSV/SDソースの映像再生をしようとした。 | 録音中はMSV/SDソースの映像再生ができません。録音が終了するのを待つか、録音を中止してから操作してください。⇒『ユーザーズガイド』（ユーザーズガイドの閲覧方法は、本書のP8をご覧ください。） |
| 再生できないディスクです。 再生できません。 ディスクを取り出してください。 | 本機で再生できないディスクを使用している。 | 本機で再生できるディスクに交換してください。⇒『ユーザーズガイド』（ユーザーズガイドの閲覧方法は、本書のP8をご覧ください。） |
| | ディスクが極端に汚れている。 ディスクにキズやそりがある。 | ディスクに汚れやキズ・そりがなければ確認してください。 |
| | ディスクの表裏が逆になっている。 | ディスクのレーベル面を上にして、セットしてください。 |

映像ディスク

| メッセージ | 原因 | 処置 |
|--|---|---|
| 高温、または低温のため、再生できません。 ディスクを取り出してください。 | 本機の内部温度が高い、または低い。 | ディスクを取り出し、内部温度が正常になるまでお待ちください。改善されない場合は、販売店またはパイオニアカスタマーサポートセンターにご相談ください。 |
| リージョンコードが違います。 | 本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。 | 本機のリージョン番号は「2」です。ディスクのパッケージなどでリージョンコード「2」を含むディスクに交換してください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法は、本書のP8をご覧ください。) |
| 再生できないディスクです。 再生できません。 ディスクを取り出してください。 | 本機で再生できないディスクを使用している。 ディスクが極端に汚れている。 ディスクにキズやそりがある。 ディスクの表裏が逆になっている。 | 本機で再生できるディスクに交換してください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法は、本書のP8をご覧ください。) ディスクに汚れやキズ・そりがないか確認してください。 ディスクのレーベル面を上にして、セットしてください。 |

音楽 CD の録音・MSV<AVIC-MRZ099W/MRZ099>

| メッセージ | 原因 | 処置 |
|---|---|--|
| MSVで使用するSDカードの容量が不足しています。この操作を行うには、30 MB以上の空き容量が必要です。SDカード内のデータを整理し、空き容量を確保してください。 MSVで使用するSDカードの容量が不足しているため、楽曲編集データを反映できません。SDカード内のデータを整理し、30 MB以上の空き容量を確保してください。 | SDカードの残容量が足りない。 | 聴かなくなった録音済みデータやパソコンからコピーしたMP3ファイルなどを削除してください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法は、本書のP8をご覧ください。) |
| SDカード容量不足のため、録音できません。 | SDカードの残容量が足りないため、録音できない。 | 十分な空き容量のあるSDカードを使用してください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法は、本書のP8をご覧ください。) |
| アルバム数が上限に達しているため、これ以上録音できません。 | SDカードに保存した録音データやパソコンから取り込んだ楽曲データが上限に達している。(トラック5 000曲、アルバム300件まで) | 聴かなくなった録音済みデータやパソコンからコピーしたMP3ファイルなどを削除してください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法は、本書のP8をご覧ください。) |
| 録音曲数の制限を超えたため、これ以上は録音できません。 | SDカードに保存した録音データやパソコンから取り込んだ楽曲データが上限に達している。(トラック5 000曲、アルバム300件まで) | 聴かなくなった録音済みデータやパソコンからコピーしたMP3ファイルなどを削除してください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法は、本書のP8をご覧ください。) |
| SDカード内でエラーが発生したため、MSV、マイミックスは使用できません。消去メニューから「録音データ全消去」を行ってください。 | 録音・マイミックスの制御データが破損している。 | 「録音データ全消去」を行ってください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法は、本書のP8をご覧ください。) |

iPod

| メッセージ | 原因 | 処置 |
|--------------------------------|---------------------------------|---|
| iPodの接続に失敗しました。 接続し直してください。 | 何らかの原因で本機とiPodの間の認証が失敗した可能性がある。 | エンジンスイッチをOFF/ONし、一度iPodを本機から取り外し、iPodが問題なく動作していることを確認してから再接続してください。 |

困ったときは

地上デジタルテレビ

| メッセージ | 原因 | 処置 |
|---------------------------------------|-------------------------------|--|
| DTVで高温を検出しました。保護のため停止中です。 | 内部温度が高くなった。 | 正常に動作する温度になるまでお待ちください。改善されないときは、設置場所に問題がないか確認してください。 |
| サービスが登録されていません。電波状況の良い場所でスキャンをしてください。 | サービスが登録されていない。 | 電波状況の良い場所で、チャンネルスキャンを行ってください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法は、本書のP8をご覧ください。) |
| 同時帯に既に予約が設定されています。 | 他の番組を予約した時間帯に別の番組を予約しようとしている。 | 同じ時間帯に重複して予約することはできません。 |
| これ以上予約を設定できません。不要な予約を消去してください。 | 可能予約数を超える予約を行おうとしている。 | 予約可能数は100件までです。必要がなくなった予約などを消去してください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法は、本書のP8をご覧ください。) |
| アンテナ接続エラーの可能性が あります。 | 地上デジタルTVのアンテナに不具合がある。 | 地上デジタルTVのアンテナ接続が正しく行われているか確認してください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法は、本書のP8をご覧ください。) |

Bluetooth Audio

| メッセージ | 原因 | 処置 |
|------------------------|--|--|
| 接続対象機器が未設定のため、操作できません。 | Bluetooth機器を登録していない。 | 接続対象機器を切り換えるか、Bluetooth Audioの機器登録を行ってください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法は、本書のP8をご覧ください。) |
| AV機器との接続に失敗しました。 | Bluetooth機器の電源またはBluetooth機能が「オフ」になっている。 | Bluetooth機器の電源またはBluetooth機能を「オン」にしてください。 |

SD/USB

| メッセージ | 原因 | 処置 |
|-------------|---------------------------------|--|
| 再生できませんでした。 | 本機で再生できないファイル形式のデータを再生しようとしている。 | 本機で再生可能なファイル形式のデータで再生してください。→P47の「再生できるファイルとメディアの種類」 |

本体リセットのしかた

次のようなときは、本機をリセットしてください。

- 正しく動作しないとき
- 画面が正しく表示されないとき

メモ

- 本体リセットを行っても、本機に登録されている内容や設定は消えません。

1 **△**と**現在地**を2秒以上同時に押す

▼
本機が再起動します。

取り扱い上のご注意

液晶画面の正しい使いかた

■取り扱い上のご注意

- 市販の液晶保護フィルムを貼ると、タッチパネルでの操作に支障が出る場合があります。
- 液晶画面は指定温度範囲内でお使いください。→P76の「仕様」
- 直射日光の当たった状態で長時間使用すると、高温になり、液晶画面が故障する恐れがあります。できる限り直射日光が当たらないようにしてください。
- 液晶画面は、車内での視認性向上のためにむき出しになっています。故障する恐れがありますので、液晶画面を強く押さないでください。
- キズや汚れの原因になりますので、液晶画面に触れるときは、必ず指先で触れてください。
- 携帯電話をお使いになるときは、携帯電話のアンテナを液晶画面に近づけないでください。画面に斑点や色模様などのノイズが出たり、映像が乱れたりすることがあります。

■液晶画面について

- 液晶画面の中に小さな黒い点や明るく光る点(輝点)が出ることがあります。これは、液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をささげてください。

■LEDバックライトについて

- 周辺温度が低い状況でお使いになる場合は、液晶の特性上残像が目立ちやすくなり画質が劣化することがあります。周辺温度が高まれば通常画質に戻ります。
- 真夏の炎天下や、エアコンの温風が直接モニター部に当たってモニター部が高温状態になると、LED保護のため、自動的にバックライトの明るさを絞る場合があります。
- LEDバックライトの寿命は1万時間以上ですが、高温下でお使いになると寿命が短くなる場合があります。
- LEDバックライトが寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店または修理受付窓口にご連絡ください。

■お手入れについて

- 液晶画面に付いたホコリや液晶画面の汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかいきれいな布でから拭きしてください。
- 液晶画面を拭くときは、ツメで引っかかないように注意してください。画面にキズが付くと映像が見づらくなります。
- 濡れたぞうきんや化学ぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

ディスクの正しい使いかた

■取り扱い上のご注意

- ディスクは、信号記録面(虹色に光っている面)を触らないように持ってください。
- ディスクにキズを付けないでください。
- ディスクにシールなどを貼らないでください。
- ディスクに市販のラベルなどを貼りつけないでください。
— ディスクに反りが生じて、再生できなくなる原因になります。
— 再生中にラベルがはがれると、ディスクが取り出せなくなり、本機の故障の原因になります。
- ディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- レーベル面に印刷ができるディスクを使用するときは、ディスクの説明書や注意書きを確認してください。ディスクによっては、挿入または取り出しができないものがあります。そのようなディスクを使用すると、本機の故障の原因になります。

メモ

- 製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

■お手入れについて

- ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布でディスクの内周から外周方向へ軽くふいてください。



- アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。

■保管上のご注意

- 直射日光の当たるところや高温になるところには、ディスクを保管しないでください。一直射日光や高温など、車内での保管状況により、ディスクは再生できなくなる場合があります。
- ディスクが反らないように、必ずケースに入れて保管してください。

■ディスク再生の環境について

- 走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。
- 寒いとき、ヒーターを入れた直後にディスク再生を始めると、本機内部の光学系レンズやディスク

に露が付いて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、1時間ほど放置して自然に露が取れるまでお待ちください。ディスクに付いた露は柔らかい布で拭いてください。

- 高温になると保護機能が働き、ディスク再生が停止します。

■使用できないディスクについて

- 以下のようなディスクは使用しないでください。ディスクによっては、挿入または取り出しができないものがあります。そのようなディスクを使用すると、本機の故障の原因になります。表紙に記載されているマークが付いたディスクをお使いください。マークは、ディスクのレーベル面やパッケージ、またはジャケットに記録されています。
 - DualDisc
 - 8 cmディスク (アダプター装着時も含む)
 - CD規格外ディスク
 - ひび、キズ、反りのあるCD



— 特殊形状のディスク



— シールなどを貼ったディスク



■再生できないディスクについて

- 以下のようなディスクは、再生できないことがあります。
 - 音楽用CDレコーダーまたはパソコンで記録したディスク
 - ファイナライズされていないディスク
 - パケットライトで記録されたディスク
 - ハイビジョン画質 (AVCHD/AVGREC規格) で記録されたディスク
 - NTSC (日本のテレビ方式) 以外の方式で記録されたDVD
 - リージョン番号が「2」や「ALL」以外のDVD
 - レイヤージャンプレコーディング方式で記録されたDVD
 - DVD-ROM/RAMディスク
 - IS09660のレベル1、レベル2、および拡張フォーマット (Joliet, Romeo) に準拠していないCD-R/RW/ROMディスク
 - UDF1.02およびIS09660のレベル1、レベル2に準拠していないDVD-R/RW/ROMディスク

■DVDに表示されているマークの意味

DVDビデオディスクのレーベル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表しています。

| マーク | 意味 |
|-----|----------------------------------|
| | 音声の数を表します。 |
| | 字幕の数を表します。 |
| | アングルの数を表します。 |
| | 画面サイズ (アスペクト比: 横と縦の比率) の種類を表します。 |



再生可能な地域番号 (リージョン番号) を表します。本機のリージョン番号は、「2」です。リージョン番号が「2」や「ALL」など「2」を含んでいるディスクを再生できます。

■DVD-VRについて

以下のロゴは、本機がビデオレコーディングフォーマット (VRモード) で記録されたDVD-R/RWディスクの再生に対応していることを示しています。



miniB-CAS カードについて

■取り扱い上のご注意

miniB-CASカードは必要なとき以外は抜かないでください。

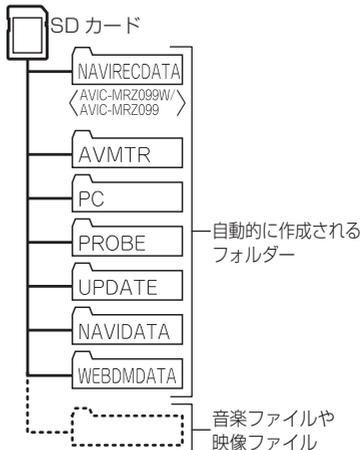
- 必要がないのに抜き差しすると故障の原因になります。
- miniB-CASカードの中にはICが内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れないように注意してください。
- 本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」とならないよう、方向に注意してください。

①注意

- 直射日光の当たるところや高温になるところには、miniB-CASカードを保管しないでください。
- 磁石の近くやテレビの上など、磁気のあるところに置いたままにしないでください。

SD カードに関するご注意

- 本機またはナビスタジオで使用したSDカードには、以下のフォルダーが自動的に作成される場合があります。



上記のフォルダーの内容は変更しないでください。SDカードに音楽ファイルや映像ファイルを保存して本機で再生する場合は、上記のフォルダー以外に保存してください。

USB 機器に関するご注意

- USB機器の取り扱いについて詳しくは、それぞれの説明書をお読みください。
- 本機との組み合わせで使用時に携帯デジタルプレーヤーやUSBメモリーのデータなどが消失した場合でも、その補償については責任を負い兼ねますのでご了承ください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、USB機器は必ず固定してください。USB機器が落下して、プレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。

■本機との接続について

- USBメモリー、USBオーディオプレーヤー以外（USB扇風機などは）は接続しないでください。
- USB機器を本機に接続する際は、指定のUSB接続ケーブル以外は、使用しないでください。
- 接続するUSB機器によっては、ラジオにノイズの影響を与えることがあります。
- USBハブを使用している接続には対応していません。

■保管上のご注意

- USB機器を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

iPod に関するご注意

■取り扱い上のご注意

- iPodを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、iPodは必ず固定してください。iPodが落下して、プレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。

■著作権について

iPodは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

電波に関するご注意

- 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また本機は日本国内のみで使用できます。
- 下記の事項を行うと法律に罰せられることがあります。
 - * 分解/改造すること。
 - * 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。
- 本機の無線機能は、2.4 GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジ、無線LAN 機器など）が使用して

ますので、電波の干渉により、本機の無線機能の音声がとぎれたり聞きとりにくくなる場合があります。また、他の機器の動作や性能に影響を及ぼすことがあります。本機は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の内容に注意してください。

- * 無線LANを利用したAV機器・防犯機器などを使用している環境で、本機の無線機能を使うと、声かとぎれたり、無線LAN機器の動作に大きな影響を与えることがあります。
- その他、下記の機器でも、2.4 GHzの周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、音声がとぎれたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。
 - * 火災報知機・ワイヤレスAV機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）
 - * 工場や倉庫などの物流管理システム・鉄道車両や緊急車両の識別システム
 - * マイクロ波治療器・ゲーム機のワイヤレスコントローラー
 - * 自動ドア・万引き防止システム（書店やCDショップなど）
 - * 自動制御機器・その他、Bluetooth®対応機器やVICS（道路交通網システム）
 - * アマチュア無線局など



- ① 「2.4」GHz帯を使用する無線設備を表します。
- ② 「FH」変調方式を表します。
- ③ 「1」想定される干渉距離（約10m）を表します。

本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、パイオニアカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめの上、ご購入の際に販売店より受け取ってください。保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

修理について

本機は持ち込み商品のため出張修理は承っておりません。引き取り修理サービスをご利用ください。(お車から取り外していただいた状態での引き取りとなります。また送料はおお客様ご負担となります。)

■保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付窓口にご連絡ください。連絡先については、裏表紙の「修理窓口のご案内」をご覧ください。

■保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店または修理受付窓口にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

■車からの脱着(お取り外し・お取り付け)について

弊社修理拠点へのお持ち込みは、製品をお車から取り外した状態で、承ります。なお、修理の際の本製品のお車からの脱着サービスは弊社で承っておりません。お車からの脱着については、お買い上げの販売店や取り付け店へご相談ください。お車からの脱着費用につきましては、お客様のご負担となります。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

仕様

共通部

使用電圧：.....DC14.4 V
(10.8 V ~ 15.1 V 使用可能)
最大消費電流：.....10 A
アース方式：.....マイナスアース方式
使用温度範囲：.....-10 °C ~ +60 °C

GPS部

受信方式：.....12チャンネルマルチチャンネル受信方式

オーディオ部

最大出力：.....50 W × 4
負荷インピーダンス：.....4 Ω (4 Ω ~ 8 Ω 使用可能)
プリアウト最大出力レベル：2.2 V
7バンドグラフィックイコライザー：
周波数：.....50 Hz/125 Hz/315 Hz/
800 Hz/2 kHz/5 kHz/
12.5 kHz

調整幅：.....± 12 dB (2 dB/step)
カットオフ周波数：
ハイパスフィルター：50 Hz/63 Hz/80 Hz/
100 Hz/125 Hz
ローパスフィルター(サブウーファー)：
50 Hz/63 Hz/80 Hz/
100 Hz/125 Hz
サブウーファー位相：.....NORMAL/REVERSE
デコーダー：.....リニアPCM、ドルビーデジ
タル、MPEG-2 AAC

外部入出力

映像入出力レベル(リアモニターOUT)：1.0 Vpp
± 10 % (signal : White
100 %)
外部音声最大入力レベル(AUX)：1.0 Vrms以下

DVD プレーヤー部

リージョンNo.：.....2
対応メディア：.....DVD (VIDEO MODE、
VR MODE)、DVD-R
(DL)、DVD-RW、
CD-ROM、CD-DA、
CD-R/RW

デコーディングフォーマット：

MP3：.....MPEG-1,2,2.5 AUDIO
LAYER-3
WMA：.....Ver.7,8,9 (2 ch audio)
AAC：.....MPEG-4 AAC
(Ver.10.01.22 以前の
iTunesでエンコードされた
もののみ)

周波数特性：

(DVD値)：.....16 Hz ~ 22 000 Hz
(±1 dB)
(CD値)：.....20 Hz ~ 20 000 Hz
(+0.1 dB / -1.0 dB)

S/N：

(DVD値)：.....100 dB (1 kHz)
(IHF-Aネットワーク)
(CD値)：.....100 dB (1 kHz)
(IHF-Aネットワーク)

ダイナミックレンジ：

(DVD値)：.....97 dB (1 kHz)
(CD値)：.....94 dB (1 kHz)

高調波歪率：.....0.009 % (1 kHz)

FM チューナー部

受信周波数帯域：.....76.0 MHz ~ 90.0 MHz
音声：.....ステレオ

AM チューナー部

受信周波数帯域：.....522 kHz ~ 1 629 kHz
(9 kHz)
音声：.....モノラル

地上デジタルTV チューナー部

放送方式：.....地上デジタル放送方式
受信チャンネル：.....470 MHz ~ 710 MHz
(UHF13 ch ~ 52 ch)

モニター部

画面サイズ：.....7 V型ワイドVGA
画素数：.....1 152 000 画素
[水平800 × 垂直480 ×
3 (RGB)]
方式：.....TFT アクティブマトリクス
方式

バックライト：.....LED 光源

地上デジタルTV用フィルムアンテナ

使用電源：.....DC8 V
出力端子：.....4系統（専用プラグ）

SDカード部

フォーマット：.....Ver.2.0
最大メモリ容量：.....32 GB
ファイルシステム：.....FAT16/FAT32
デコーディングフォーマット：
MP3：.....MPEG-1,2,2.5 AUDIO
LAYER-3
WMA：.....Ver.7,8,9 (2 ch audio)
AAC：.....MPEG-4 AAC
(Ver.10.01.22以前の
iTunesでエンコードされた
もののみ)
MPEG4 (MP4)：...MPEG-4 Video + AAC、
H.264/AVC + AAC
AVI：.....MPEG-4 Video + MP3、
MPEG-4 Video + AC3
WMV：.....WMV (VC-1) + WMA
シグナルフォーマット：
WAV：.....LPCM

USB部

対応メディア：.....USB2.0 High Speed
最大電流：.....1 A
最大メモリ容量：.....16 GB
ファイルシステム：.....FAT16/FAT32
デコーディングフォーマット：
MP3：.....MPEG-1,2,2.5 AUDIO
LAYER-3
WMA：.....Ver.7,8,9 (2 ch audio)
AAC：.....MPEG-4 AAC
(Ver.10.01.22 以前の
iTunesでエンコードされた
もののみ)
シグナルフォーマット：
WAV：.....LPCM
USB CLASS：.....MSC (MASS STORAGE
CLASS)

Bluetooth部

Bluetoothバージョン：...Bluetooth2.1+EDR
出力：.....最大+4 dBm (Power
class2)

外形寸法

本体取付寸法：.....206 (W) mm × 104
(H) mm ×
163 (D) mm < AVIC-
MRZ099W >
.....178 (W) mm × 100
(H) mm × 167 (D)
mm
本体ノーズ寸法：.....197 (W) mm × 97
(H) mm × 21 (D) mm
< AVIC-MRZ099W >
.....171 (W) mm × 97
(H) mm × 18 (D) mm
GPS アンテナ：.....33 (W) mm × 36 (H)
mm × 14 (D) mm
地上デジタルTV (12セグ用) フィルムアンテナ：
119 (W) mm × 110
(H) mm × 0.3 (D) mm

質量

本体：.....2.5 kg
< AVIC-MRZ099W/MRZ099 >
2.3 kg
< AVIC-MRZ077/MRZ066 >

付属品

GPS アンテナ：.....1 *
地上デジタルTV (12セグ用) フィルムアンテナ：
一式*
miniB-CASカード：.....1
ハンズフリー通話用マイク：1
取付キット：.....一式*
コード類：.....一式*
取扱説明書：.....1
取付説明書：.....1
保証書：.....1
* 接続・取り付け部品の詳細につきましては、「取付
説明書」をご覧ください。

メモ

・ 本書に記載している寸法・重量などは、実際の製品
と異なる場合があります。実際の製品の仕様は、性
能・機能改善のため、予告なく変更することがあり
ます。

VICS情報有料放送サービス契 約約款

付録

■第1章 総則

(約款の適用)

第1条

一般財団法人道路交通情報通信システムセンター (以
下「当センター」といいます。)は、放送法 (昭和25年法
律第132号) 第147条の規定に基づき、このVICS情
報有料放送サービス契約約款 (以下「この約款」とい
います。)を定め、これによりVICS情報有料放送サー
ビスを提供します。

(約款の変更)

第2条

当センターは、この約款を変更することがあります。こ
の場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情
報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条

この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使
用します。

(1) VICSサービス

当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM
多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送
サービス

(2) VICSサービス契約

当センターからVICSサービスの提供を受けるため
の契約

(3) 加入者

当センターとVICSサービス契約を締結した者

(4) VICSデスクランブラー

FM 多重放送局からのスクランブル化 (攪乱) された電
波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

■第2章 サービスの種類等

(VICsサービスの種類)

第4条

VICS サービスには、次の種類があります。

(1) 文字表示型サービス

文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

(2) 簡易図形表示型サービス

簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

(3) 地図重畳型サービス

車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICsサービスの提供時間)

第5条

当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICsサービスを提供します。

■第3章 契約

(契約の単位)

第6条

当センターは、VICsデスクランブラー1台毎に1のVICsサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条

VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内)とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICsサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条

VICSサービスは、VICs対応FM受信機(VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機)を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICsサービスの種類の変更)

第9条

加入者は、VICsサービスの種類に対応したVICs対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICsサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条

加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条

当センターは、次の場合には加入者がVICsサービス契約を解除したものとみなします。

(1) 加入者がVICsデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき

(2) 加入者の所有するVICsデスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条

1 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICsサービス契約を解除することができます。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICsサービス契約は、解除されたものと見なされます。

2 第11条又は第12条の規定により、VICsサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICsサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

■第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条

加入者は、当センターが提供するVICsサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

■第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条

当センターは、当センターが提供するVICsサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条

1 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICsサービスの利用を中止することがあります。

2 当センターは、前項の規定によりVICsサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

■第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条

加入者は、当センターが提供するVICsサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条

1 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICsサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICsサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。ただし、当センターは当該変更においても変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICsサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2 VICsサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICsサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICsサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

■別表 視聴料金

視聴料金：315円(うち消費税15円)

ただし、車載機購入価格に含まれております。

Gracenote[®] について

■概要

音楽認識技術と関連情報Gracenote[®]社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote[®]社のホームページwww.gracenote.comをご覧ください。

■特許及び商標

Gracenote, Inc. 提供のCDおよび音楽関連データ:copyright ©2000 to present Gracenote. Gracenote Software, copyright ©2000 to present Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenoteが所有する1つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部のGracenote特許の一覧については、GracenoteのWebサイトをご覧ください。Gracenote, CDDB, MusicID, MediaVOCs, Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および "Powered by Gracenote" ロゴは、米国および/またはその他の国におけるGracenoteの登録商標または商標です。

■Gracenote[®] エンドユーザー使用許諾契約書

Ja EULA 8-10-2009

本ソフトウェア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc. (以下「Gracenote」とする) から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウェア製品または本電器製品は、Gracenote社のソフトウェア(以下「Gracenoteソフトウェア」とする) を利用し、音楽CDや楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報(以下「Gracenoteデータ」とする)などの音楽関連情報をオンライン サーバー-または製品に実装されたデータベース(以下、総称して「Gracenoteサーバー」とする) から取得するとともに、取得されたGracenoteデータを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウェア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外にGracenoteデータを使用することはできません。

お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、および Gracenoteサーバーを非営利的かつ個人的目的のみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、GracenoteソフトウェアやGracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、またはGracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenoteは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が本契約上の権利をGracenoteとして直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenoteのサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenoteサービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenoteのサービスに関するWebnoteプライバシーポリシーを参照してください。

GracenoteソフトウェアとGracenoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままに提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenoteは、Gracenoteサーバーにおける全てのGracenoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。GracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーにエラー、障害のないことや、或いはGracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenoteは、将来Gracenoteが提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenoteは、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

Gracenoteは、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的でないいかなる保証もしないものとします。Gracenoteは、お客様によるGracenoteソフトウェアまたは任意のGracenoteサーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenoteは結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

© Gracenote, Inc. 2013

■Gracenoteデータについて

- 本機内蔵Gracenoteデータ、専用サーバーのGracenoteデータともに、データの内容を100%保証するものではありません。
- 専用サーバーのGracenoteデータは、メンテナンス等により予告なく停止することがあります。
- 専用サーバーによるGracenoteデータの通信サービスは、提供するコンテンツが収集できない場合やその他サービスの提供に支障をきたす事由が生じた場合、お客様の承諾なくその提供を中止することがあります。

商標・著作権など

- 本機は、電気通信事業法および電波法に基づく設計認証を取得しています。



① D12-0204001
② 007-AA0160

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 本機は、ロヴィコーポレーションの米国特許および他の知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。
- Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品は、米国Microsoft Corporationが所有する技術を使用しています。また、米国Microsoft Licensing Inc.の許可を得ずに使用または頒布できません。
- Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- IntelおよびPentiumは、米国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。
- MP3とは「MPEG Audio Layer 3」の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送*で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送*で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ<http://www.mp3licensing.com>をご覧ください。*営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送(地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア)、インターネットを使った放送やデータ転送、インターネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。
- iTunesは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iPodは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

Made for



iPod



iPhone

- 「Made for iPod」および「Made for iPhone」とは、それぞれiPodあるいはiPhone専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。このアクセサリをiPodあるいはiPhoneと使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。
-  VICSは、財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- Bluetooth[®]ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する商標であり、パイオニア株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有者が所有する財産です。



はDVDフォーマットロゴライセンシング(株)の商標です。

- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- 「マッククリップ」はインクrement P (株)の登録商標です。
- QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- 本製品に収録されたデータ及びプログラムの著作権は、弊社及び弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータ及びプログラムの全部または一部を複製、改変、解析などすることはできません。
- この製品に含まれるブラウザの改変及び複製、この製品から分離させる行為は、行ってはいけません。
- This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- Entier (エンティア)は、株式会社日立製作所の日本国及びその他の国における商標です。
 - 1 最終需要家は、特定の1台の装置にのみ添付ソフト複製物を複製できるものとします。
 - 2 最終需要家は、添付ソフト複製物の全部又は一部を第三者に対し、有償であるも無償であるを問わず、譲渡、使用許諾その他の方法で使用させてはならないものとします。
 - 3 最終需要家は、添付ソフト複製物の全部又は一部を逆アセンブル若しくは逆コンパイル又は改変することはできないものとします。
 - 4 最終需要家は、第1項に定める場合を除き、添付ソフト複製物の全部若しくは一部を複製し、又は他のプログラムと結合してはならないものとします。
 - 5 一部を単独で又は他の製品と組み合わせ、直接又は間接に次の各号のいずれかに該当する取扱いをする場合、最終需要家は、「外国為替及び外国貿易法」の規制及び米国輸出管理規則等外国の輸出関連法規を確認の上、必要な手続をとるものとします。
 - (1)輸出するとき。
 - (2)海外へ持ち出すとき。
 - (3)非居住者へ提供し、又は使用させるとき。
 - (4)前3号に定めるほか、「外国為替及び外国貿易法」又は外国の輸出関連法規に定めがあるとき。

注1:

上記の「最終需要家許諾条項に記載すべき事項」の内容については、第5条第3項及び第4項の場合には本別紙中「添付ソフト複製物」とあるのを「本件装置用組込用ランタイム」に、第6条第2項の場合には本別紙中「添付ソフト複製物」とあるのを「結合添付ソフトウェア」にそれぞれ読み替えるものとします。

注2:

第6条第1項第3号又は同条第2項第2号の規定に基づき添付ソフト改良版に係る最終需要家許諾条項を本別紙に従い甲が作成する場合、本別紙中「添付ソフト複製物」とあるのを「添付ソフト改良版」と読み替えるものとします。

- フォトリモおよびフォトリモ@ナビはシャープ株式会社
の登録商標または商標です。
- その他、製品名などの固有名詞は各社の商標又は登録
商標です。
- お客様が録音（録画）したものは、個人として楽しむ
などの他は、著作権法上、権利者に無断で使用でき
ません。
- 弊社は、本製品に収録された地図データなどが完全・
正確であること、及び本製品がお客様の特定目的へ
合致することを保証するものではありません。
- 本機は日本国内専用です。GPSの測位範囲が異なる
外国ではご使用頂けません。
- 本製品の仕様及び外観は、改善のため予告なく変更
する場合があります。また、取扱説明書の内容と実物
が異なることがあります。その場合における本製
品の改造、またはお取り換えのご要望には応じかね
ます。
- **bsdiff**

Copyright 2003-2005 Colin Percival
All rights reserved

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted providing that the following conditions are met:

- 1 Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- 2 Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

- **bzip2**
This program, "bzip2", the associated library "libbzip2", and all documentation, are copyright (C) 1996-2007 Julian R Seward. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1 Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- 2 The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
- 3 Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
- 4 The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Julian Seward, jseward@bzip.org
bzip2/libbzip2 version 1.0.5 of 10 December 2007

- **FreeType**
Portions of the software in this product are copyright 1996 - 2009 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.
Licensed under the FreeType Project LICENSE, 2006-Jan-27. (<http://www.freetype.org/FTL.TXT>)
- **libjpeg**
This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- **libpng**
This copy of the libpng notices is provided for your convenience. In case of any discrepancy between this copy and the notices in the file png.h that is included in the libpng distribution, the latter shall prevail.
COPYRIGHT NOTICE, DISCLAIMER, and LICENSE:
If you modify libpng you may insert additional notices immediately following this sentence.
This code is released under the libpng license.

libpng versions 1.2.6, August 15, 2004, through 1.2.41, December 3, 2009, are Copyright (c) 2004, 2006-2009 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.2.5 with the following individual added to the list of Contributing Authors
Cosmin Truta

libpng versions 1.0.7, July 1, 2000, through 1.2.5 - October 3, 2002, are

Copyright (c) 2000-2002 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.0.6 with the following individuals added to the list of Contributing Authors
Simon-Pierre Cadieux
Eric S. Raymond

Gilles Vollant

and with the following additions to the disclaimer:

There is no warranty against interference with your enjoyment of the library or against infringement. There is no warranty that our efforts or the library will fulfill any of your particular purposes or needs. This library is provided with all faults, and the entire risk of satisfactory quality, performance, accuracy, and effort is with the user.

libpng versions 0.97, January 1998, through 1.0.6, March 20, 2000, are

Copyright (c) 1998, 1999 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.96, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

Tom Lane

Glenn Randers-Pehrson

Willem van Schaik

libpng versions 0.89, June 1996, through 0.96, May 1997, are

Copyright (c) 1996, 1997 Andreas Dilger Distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.88, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

John Bowler

Kevin Bracey

Sam Bushell

Magnus Holmgren

Greg Roelofs

Tom Tanner

libpng versions 0.5, May 1995, through 0.88, January 1996, are

Copyright (c) 1995, 1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

For the purposes of this copyright and license, "Contributing Authors" is defined as the following set of individuals:

Andreas Dilger

Dave Martindale

Guy Eric Schalnat

Paul Schmidt

Tim Wegner

The PNG Reference Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors and Group 42, Inc. disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors

and Group 42, Inc. assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the PNG Reference Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

- 1 The origin of this source code must not be misrepresented.
- 2 Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.
- 3 This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors and Group 42, Inc. specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the PNG file format in commercial products. If you use this source code in a product, acknowledgment is not required but would be appreciated.

A "png_get_copyright" function is available, for convenient use in "about"boxes and the like: `printf("%s",png_get_copyright(NULL));` Also, the PNG logo (in PNG format, of course) is supplied in the files "pngbar.png" and "pngbar.jpg (88x31)" and "pngnow.png" (98x31).

Libpng is OSI Certified Open Source Software. OSI Certified Open Source is a certification mark of the Open Source Initiative.

Glenn Randers-Pehrson glennrp at users.sourceforge.net December 3, 2009

● libmng

COPYRIGHT NOTICE:

Copyright (c) 2000-2007 Gerard Juyn (gerard@libmng.com)

For the purposes of this copyright and license, "Contributing Authors" is defined as the following set of individuals:

Gerard Juyn

Glenn Randers-Pehrson

The MNG Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the MNG Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

- 1 The origin of this source code must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software.
- 2 Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.

3 This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the MNG and JNG file format in commercial products.

If you use this source code in a product, acknowledgment would be highly appreciated.

Parts of this software have been adapted from the libpng package. Although this library supports all features from the PNG specification (as MNG descends from it) it does not require the libpng package. It does require the zlib library and optionally the IJG jpeg library, and/or the "little-cms" library by Marti Maria (depending on the inclusion of support for JNG and Full-Color-Management respectively).

This library's function is primarily to read and display MNG animations. It is not meant as a full-featured image-editing component! It does however offer creation and editing functionality at the chunk level. (future modifications may include some more support for creation and/or editing)

- **libxml2**

Except where otherwise noted in the source code (e.g. the files hash.c, list.c and the trio files, which are covered by a similar licence but with different Copyright notices) all the files are:

Copyright (C) 1998-2003 Daniel Veillard. All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions: The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE DANIEL VEILLARD BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of Daniel Veillard shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from him.

hash.c: chained hash tables

Reference: Your favorite introductory book on algorithms

Copyright (C) 2000 Bjorn Reese and Daniel Veillard.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS'' AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE AUTHORS AND CONTRIBUTORS ACCEPT NO RESPONSIBILITY IN ANY CONCEIVABLE MANNER.

Author: breese@users.sourceforge.net

list.c: lists handling implementation

Copyright (C) 2000 Gary Pennington and Daniel Veillard.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS'' AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE AUTHORS AND CONTRIBUTORS ACCEPT NO RESPONSIBILITY IN ANY CONCEIVABLE MANNER.

Author: Gary.Pennington@uk.sun.com

trio files

Copyright (C) 1998 Bjorn Reese and Daniel Stenberg.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS'' AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE AUTHORS AND CONTRIBUTORS ACCEPT NO RESPONSIBILITY IN ANY CONCEIVABLE MANNER.

- **giflib**

The GIFLIB distribution is Copyright (c) 1997 Eric S. Raymond

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

· OpenGL 1.1, EGL 1.4

Copyright (C) Silicon Graphics, Inc. All Rights Reserved.

Licensed under SGI FREE SOFTWARE LICENSE B (Version 1.0, Jan. 25, 2000 , <http://oss.sgi.com/projects/FreeB/>)

· rapidjson

Copyright (C) 2011 Milo Yip

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions: The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

- **SEE: Simple ECMAScript Engine**

The SEE library source is released under what is commonly called a "BSD-style" licence:

Copyright (c) 2003, 2004, 2005, 2006, 2007 David Leonard. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1 Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- 2 Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice,

this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

- 3 Neither the name of David Leonard nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The separate 'dtoa.c' file is separately licenced, thus:

The author of this software is David M. Gay. Copyright (c) 1991, 2000 by Lucent Technologies.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose without fee is hereby granted, provided that this entire notice is included in all copies of any software which is or includes a copy or modification of this software and in all copies of the supporting documentation for such software.

THIS SOFTWARE IS BEING PROVIDED "AS IS", WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY. IN PARTICULAR, NEITHER THE AUTHOR NOR LUCENT MAKES ANY REPRESENTATION OR WARRANTY OF ANY KIND CONCERNING THE MERCHANTABILITY OF THIS SOFTWARE OR ITS FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE.

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる **☎**フリーコール および **☎**フリーコールは、携帯電話・PHS一部のIP電話などからは、ご使用に
 できません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHS・IP電話などからご利用可能ですが、通話料がかかります。
 正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信者番号の通知にご協力いただきますよう
 お願いいたします。

ご相談窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

パイオニア商品の修理・お取り扱い(取り付け・組み合わせなど)については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口 ● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求窓口

カスタマーサポートセンター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00 (日曜・祝日・弊社休業日は除く)

●カーオーディオ/カーナビゲーション商品

電話: **☎ 0120-944-111** 【一般電話】 **044-572-8101** FAX: **044-572-8103**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>

※商品についてよくあるお問い合わせ・お客様登録など

●カーナビゲーションのバージョンアップ・ダウンロード相談 (サイバーナビ、楽ナビ、楽ナビLiteのナビスタジオ操作)

電話: **☎ 0120-702-383** 【一般電話】 **044-572-8070** FAX: **044-572-8103**

カーナビゲーション「訪問宅電話番号検索機能」に関するご相談窓口

「訪問宅電話番号検索機能」に関する個人情報の削除等の受付窓口

受付時間 月曜～金曜 9:30～12:00、13:00～17:00 (土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話: **☎ 0120-817-088**

修理窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかを確認ください。それでも正常
 に動作しない場合は、①型名、②ご購入日、③故障症状を具体的にご連絡ください。

修理についてのご相談窓口 ● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

修理受付窓口

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00 (日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話: **☎ 0120-5-81028** 【一般電話】 **044-572-8100** FAX: **☎ 0120-5-81029**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/repair/>

※家庭用オーディオ/ビジュアル商品はインターネットによる修理のお申し込みを受け付けております

部品のご購入についてのご相談窓口 ● 部品 (付属品・リモコン取扱説明書など)のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00 (日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話: **☎ 0120-5-81095** 【一般電話】 **044-572-8107** FAX: **☎ 0120-5-81096**

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.047

パイオニア株式会社

〒212-0031

神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号

© パイオニア株式会社 2013

< KFWZ131 > < CRA4756-B >